

新編

三國

人名

集

卷

八

完

911.3

八



古来庵存義遺稿
龍鱗庵素月訂補
高井蘭山父校正

原本

俳諧

種卸

文化第九壬申大簇發刊

增補二國人名牒

全

東都書肆青蒸閣梓行



俳諧
種卸 增補三國人名牒



嚮^{いさ}刊^{かん}行^{かう}多^た種^{しゆ}卸^{かろ}ハ釣^{つり}月^{げつ}堂^{どう}一^{いち}漁^{りよ}宗^{そう}匠^{じやう}
の^の著^あ者^{しや}ハ形^{かたち}手^て抄^{しやう}中^{ちゆう}ハ俳^{はい}用^{よう}の^の人^{にん}物^{ぶつ}ハ
我^{われ}と^とハ一^{いち}冊^{さつ}毛^{もう}專^{せん}其^{その}撰^{せん}ハ俳^{はい}用^{よう}の^の人^{にん}物^{ぶつ}ハ
是^{こゝろ}原^{げん}より^{より}も^もハ^ハの^の奥^{おく}子^こ有^あり^り茶^{ちや}
存^{ぞん}義^ぎ宗^{そう}匠^{じやう}書^{しよ}得^{とく}至^{いた}ま^ま龍^{りゆう}鱗^{りん}庵^{あん}素^そ月^{げつ}
宗^{そう}匠^{じやう}子^こ傳^{でん}一^{いち}冊^{さつ}ハ^ハ二^に子^こ也^{なり}

泉下の賓も行くバ素月子は甥を不
 蘭山先生子校正紙需を彼是紅合
 ちりま非諧人名撰と歎く一壽梓
 此功紙畢如

文化九壬申年

孟春

星運堂識

俳諧人名帳

凡例

○此書専ら俳用の人物紙集る故日本唐去天竺男女俗格貴族は拘む
 其外紙集る紙採採仍く賢愚紙差別也
 ○神といふも目の上古の人紙といふも印度いかに一人也と云は俳道は神紙乃
 同紙を止バ修詳諾るも向より神紙之倫之を云ふ所原牛紙
 天海宮も神は宗ざるまの序名亦て自ら素盞鳴彦丞相といハ人
 倫紙道も紙迦も素陀太子ハ人倫紙也又孔子ハ人倫の道也
 辨るは紙紙之句の變化也人倫紙道は神紙といふ神紙紙の
 人物の事と俳道の定式を云ふ事と替は
 ○英人の言え言は衣通飛小野小町李夫人揚貴地の歌名中も意と定む

或ハ美人の夢を記す夜明が石より落ちて夫は暮ふ夜息に或ハ白練
の若くて息もも類多しそなの宗道古老の若原に従軍し小町も実
寺よまろ落草都賀に梅少殿をかどハ速懐多き息の情は疎くも唯
打ちまをせそ息とりて人物に意は下と云

○俳用おわくも古くは漢をま出ても多し唐去の人物ハ漢の印より

以下小集天竺の人物もま出せ並出れ和漢とも尺の下よりハ新門へ

○和漢の廻陣出家ハ初て新く是ハ元寇の合戦と連じ或ハ武藏坊大夫坊

の族ハ初は弁く指十を僧取法種る是ハ新く定まらる者多し医家

画家の法ハ法橋ハ信の初ハ世音人の檢換信の初ハ

○新く固又ハ字既紙進て出れ也新古史の改序紙紙ハ外史と云

是且世俗唱する如に教也姓を記し苗字を用ひ名斗出紙ハ夜系紙と

唱者原城落と称を唱紙の多に随て出れ是入るに似る人ぬ之あ原出

との變ハイとわハイの部も出る城人入る下

○太平の徳澤久く流と一藝家ける人際限有くハ實に書中の一紙

梅不且書書夫の湯名と卑情と交誌の怖れも其備道ハ元貞初る及

るは雲上の法事も唱クハ前奉法法守のうも云出るとの

○諸君暫く見許多し又具也送法出せハ業も多わハ准へくそ

わハ後聖人詩法刑は鄭衛地弁るハ悪人かくハ何は信て若人紙人

悪黨ハ忍ち滅るのも好ハ醜名紙末は胎小徳て志気若紙は

○豈良らざらんや

○鎧劔弓馬武術の名家秋葉善也鞠棊算術百般技藝の善名
法宗備林の碩徳ハ後編ハ朗漢せり書辭新紙促の急るを云

○二十年來の人物云々は十年百年の舊も當世に怪三、佛徳
 出まじし主まじし主夫々、佛徳
 種々之又源日本の古文物、佛徳
 此る空名人物、佛徳
 忠水、佛徳
 ○一井ヲ大工令一紙、佛徳
 差あり
 ○宝法、佛徳
 御沙、佛徳
 生に惑、佛徳
 ○一書、佛徳

種俳諧 卸譜 增補三國人名牒

京來庵 存義遺稿
 龍鱗庵 素月訂補
 高井氏 蘭山校正

一 部

伊弉諾尊 天神代
 伊弉册尊 天神代
 稲田媛 足麻呂の女、東益
 一條攝政 伊弉、得受人
 一條禪閣 威恩寺、自徑嗣
 公孫、自明
 老人、子歌
 文明十二年、十

一條教房、公孫
 漢名、長内
 一井周、悟
 五、公孫
 冬、公孫
 六年、公孫
 百、公孫
 一庵、尾
 兼、公孫

一、公孫
 伊、公孫
 伊、公孫
 伊、公孫
 伊、公孫
 伊、公孫
 伊、公孫
 伊、公孫
 伊、公孫
 伊、公孫
 伊、公孫
 伊、公孫

伊波仁爾 負准損字原依
川人信 室中波松
古皇子先せと謚

伊波左涯 仁爾の長子名
長瀬を大層持
継々爾上白義堂と稱す
元文
中波松紹遠先せと謚

伊波坦庵 在室下元
勢清下の儒
和泉三郎 和泉道貞の
書上京院の

女房少 親平と稱海客の
泉三郎 親平と稱海客の
別力を致はし

入鹿 藤我蝦夷の男改姓
乃方おれ余松のそめ誅

入江若水 播磨の人海客の
栢も芝野のそめい

入江東阿 平馬と稱海客
天厚のそめい

磯前司 和隆の妻
稔の母

今井日郎 兼平と稱義仲の
忠臣源深の所乳

今井了俊 伊予の源貞世の
乃九段の探頭喚

明の君子 乃のそめい

今井宗久 宗薫又なる名

今大路道三 管地院聖
竹屋と号仁
柳のそめい

今西正之 陽甫白野と号
拾石の人
医たる名

池禪尼 平賀の母
池永道雲 石の景春一峯
と号享保の比

石川良子 宇多帝の令婦
小室のそめい

石山師香 卿の男中
細を画と号彫
物師若しあり

石川五右衛門 天下の大徳者
氏家の時良

石川大山 右四字城の
と号なるはと孫三郎の人

石川柏山 彦根の兄
佐虫一流

飯尾常氏 宗慶の兄
書家

飯田百川 流を立
流を立

指若水 久宣義字大彰信
物師學城唱よ

五十嵐俊明 方徳具
法一家安永天明
の比なるなり

一品芳安 仙林
結徒門人

移竹田 氏松東川
と稱能林

井手九大臣 攝法尼のそめい
徳の撰者山

井筒前 業平知のそめい
のちのそめい

井上養白 和泉のそめい
和泉のそめい

井澤長秀 七郎重と稱
肥後隈中流

維舟 松江のそめい
言身七佛仙の心

一遍上人 河野通彦の男
時宗の祖遊の

一休 狂雲子と号真叟
宗星の法嗣大徳寺の住持
薪酌恩庵官至文明十三
年十月寂

一山 名一寧宋の傍安
中日中に帰化を叙して
妙義の海客

一岑 名大明一東福流の
そめい貞和中寂

一翁 名院豪長樂寺の住持
江表の聖徳に安中叙

一之 江表の聖徳に安中叙
明兆の奥然究む

一絲 又一枝二心名父守叙
室の流下安茂源寺
鳥光光彦の参跡小海遠
別階在坊抄と

友山 友山 徳前名知の男相國寺
壹演 名山貞叙九七月叙

友山 名士徳元小波法老
謂一息安中叙東福

以天 名宗徳撰名と亭
天中叙大徳の碩學

佚山 名黙隠常足と号
初巻修来と林太板の
人家所人書法匠家文
画のるる名系作と波

雄長老 建仁寺の住持
名と号

祐天 名上寺大徳正法天寺の
石山と住の名居

石因檢校 名某の
石村檢校 名三線の刻字

生因檢校 名八格と号す
大月の傍日中と号化一
名作美榮山を第一宗

唯宗 名名住捕首程流の
名住魚永中叙

唯然 名雲水の住持
名住人と号す

維肖 名名得嚴南程流の
名住文と号す

伊尹 名殷湯王の
賢相

伊川先生 名程名願字正
叔明道の号因字
の号人宗湖小孔孟の号宗茶
揮也又書法と号す

伊字九 名海也堂字野圃川
等の号ありはは是
名の人書画の山水
名書の書を号す

有子 名若宮字子有
名若宮字子有
名若宮字子有

游定夫 名酢門
名酢門

游業庵 名黙字大元因
清の書家

熊希華 名千鱗
清の書家

殷湯王 名履聖人夏祭
王の号なり代民を救ふ

殷紂王 名紂
湯王の妹也名紂
辛姐巴が色と号す
酒池肉林と号す
名周武王が伐滅する

尹士甫 名世の
名世の

尹和靖 名煥字考明
宋理程門の号す

尹松亭 名義逸山高と号
清の書家

韋誕 名漢の蔡邕小字伯
名漢の蔡邕小字伯
名漢の蔡邕小字伯

一行阿闍梨 名張名儀
唐玄宗の時
天台宗の住持天文曆教
ト筆の乃よと号す

為霖 名道霽
明の書家

荖昇 名名智融秋潭
名名智融秋潭

因掲陀尊者 名十六羅漢
名十六羅漢

六孫王 名經基
高麗の王
名經基

六條美房 名義家の男
名義家の男
名義家の男

六代法前 名平維盛の女
名平維盛の女
名平維盛の女

六角承禎 名一統
名一統

露沾公 名内液北列義家
名内液北列義家

路水 名青本白柳園と号
名青本白柳園と号

盧元坊 名柳林支考
名柳林支考

魯山 名玄膳南保
名玄膳南保

樓用里先生 名商山四皓の
名商山四皓の

盧生 名耶那の舎には名
名耶那の舎には名

盧照隣 名昇之唐の
名昇之唐の

盧金 名自王王子と
名自王王子と

盧見曾 名推雨と号す
名推雨と号す

路温舒 名漢の時貧小
名漢の時貧小

樓鑰 名大坊政魏と号
名大坊政魏と号

樓鑰 名大坊政魏と号
名大坊政魏と号

樓鑰 名大坊政魏と号
名大坊政魏と号

樓鑰 名大坊政魏と号
名大坊政魏と号

六奇 名、韜漸江と号清の高僧

之部

速ハヤシ 修睦 修睦は修睦の弟也

速見 親祐 修睦の弟也

速水 友益 修睦の弟也

原見王 修睦の弟也

保昌 友系 致志の弟

春道 友樹 致志の弟

畠山 守忠 修睦の弟也

秋田 秋盛 資盛の弟也

秦武文 友系 致志の弟

秦太 友探 致志の弟也

林道春 修睦の弟也

林我安 修睦の弟也

林道春 修睦の弟也

林道春 修睦の弟也

林道春 修睦の弟也

林道春 修睦の弟也

林道春 修睦の弟也

林道春 修睦の弟也

林園苑 名、日新秋苑と号 童齡と号大坂の人

林東溟 固助と号 香道の

花教里 修睦の弟也

萬里居士 修睦の弟也

白幽子 修睦の弟也

長谷川 氏貞 修睦の弟也

服部南郭 修睦の弟也

秦太 友探 致志の弟也

馬場春水 修睦の弟也

馬場春水 修睦の弟也

馬場春水 修睦の弟也

馬場春水 修睦の弟也

馬場春水 修睦の弟也

馬場春水 修睦の弟也

馬場春水 修睦の弟也

馬場春水 修睦の弟也

馬場春水 修睦の弟也

馬場春水 修睦の弟也

馬場春水 修睦の弟也

馬場春水 修睦の弟也

馬場春水 修睦の弟也

彭城百川 修睦の弟也

寶生 修睦の弟也

梅盛 修睦の弟也

芭蕉 修睦の弟也

巴人 修睦の弟也

人寛 修睦の弟也

秋水 修睦の弟也

法水 修睦の弟也

法水 修睦の弟也

法水 修睦の弟也

法水 修睦の弟也

法水 修睦の弟也

法水 修睦の弟也

法水 修睦の弟也

法水 修睦の弟也

法水 修睦の弟也

法水 修睦の弟也

法水 修睦の弟也

法水 修睦の弟也

法水 修睦の弟也

法水 修睦の弟也

柏岩 名ハ此府美穂
の石を名に

泊如 名ハ運徹智積院の傍
碩徳のたまり

芳庭 名ハ法京天竜
流のまじ

萬仞 大徳流の
碩学

盤珪 名ハ永琢乃者元の
法嗣を体社を

馬合 名ハ永琢乃者元の
美穂の傍画法一流

秋坊 名ハ兼国を名に
又志高坊と称松花堂

又の才ひて画を名
又ねるのそつて

漢 伯夷叔齊 孤竹の君の二
人の子兄弟

周武王殷を伐を
後首陽采薇を採て食し
竟小餓

死せり

百里奚 虞国の大夫君を
道を去て

小食成をて世に名を揚公を
賢る代を奉て相と

分 且 帝頌頌の去孫姓は錢
壹 且 名ハ謹周の世ハ百歳と

い 老む 揚王太末とせむ
う び して 流沙の西に去

壹 行 先 名ハ胎印古心と

壹 行 先 名ハ胎印古心と

壹 行 先 名ハ胎印古心と

樊 須 字ハ子遊

樊 須 字ハ子遊

樊 須 字ハ子遊

樊 須 字ハ子遊

天の乃とて齊に往陶朱公云

范祖禹 字ハ淳夫宋の儒

范純仁 字ハ堯夫胡安定の
子の監

范禎 字ハ心庵和陽仙と号
法相書を著す

馬氏 大玄宗の事夫の貧く
老を然厭ひ去てのち

大をを齊との君とる再
書ふんとを覆水盆を復す

自盛と死に

馬援 字ハ文淵漢の
伏波將軍

馬融 字ハ季長後漢の人
忠節を著す

馬良 字ハ子長
州の画友

馬宋英 字ハ子長
の画友

班婕妤 漢成帝の寵姫
賢を著す

梅妃 唐高宗の楊妃と良
寵を著す

梅堯臣 字ハ聖俞
宋の大家

白樂天 名ハ居易唐の詩人
晩年仙を著す

龐居士 名ハ薩婆名ハ道元唐の
時石印和尚參天啓

萬將軍 元日本と龍舟の時
大風起て大軍中

非衣叔孫 字ハ徒遊魏の居士
号はの出家

潘秉衡 字ハ詮老漢の浙に
の人名を著す

方西園 字ハ和の
画友

宝誌 南宋の禪師俗世を著
の文は唐の次存と云

馬祖 俗像を火に投せ
大悟の程

巴思 元相のそと
六侍の一人

抱石 名ハ勛雲玄谷
と号明の書友

跋摩三藏 天竺の八咸愛佛
を著す

跋羅跋磨者 跋磨の著
跋磨の著

跋陀羅者 跋陀羅の著
跋陀羅の著

半諾迦者 半諾迦の著
半諾迦の著

伐那婆斯者 伐那婆斯の著
伐那婆斯の著

二 之部

瓊々梓者 瓊々梓の著
瓊々梓の著

仁徳天皇 天智帝の皇子
十七代の帝は朝

聖王と作

二條禪向 後醍醐天皇
其云と稱白乃

平の男と大民と和屋二年
光徳天皇の御も

同を著す

二位尼 平家盛の母持備
今上を抱入水

二階堂行 二階堂の
名を著す

仁戒了紀 仁戒と持和
井流の書を著す

女二宮 女二宮の如く
會女の書を著す

白雲部 白雲部の
書を著す

西木太舟 西木の太舟
書を著す

西木太舟 西木の太舟
書を著す

西木太舟 西木の太舟
書を著す

戦の時和田家島山

西室儀中 甲斐の洞支那本

西村方石 京の人相の比

西川水城齋 長谷の氏

天文曆教

西川祐信 自得齋と号す

新田義貞 位下中於建武

新田義貞 位下中於建武

新田義貞 位下中於建武

新田義貞 位下中於建武

新田義貞 位下中於建武

新田義貞 位下中於建武

新田義貞 位下中於建武

新田義貞 位下中於建武

新田義貞 位下中於建武

新田義貞 位下中於建武

新田義貞 位下中於建武

新田義貞 位下中於建武

新田義貞 位下中於建武

日東 祖加南經の

日田 名ハ利持系福徳の

日峯 名ハ法如天竜寺の信

仁由 名ハ宗清大住持秀の

仁濟 名ハ宗清大住持秀の

西宮信正 名ハ公頼安徳の

日南 名ハ昇日胡の信

火闌降 又火酢折小也

木之部

本因系長光 行及長光寺の源

本因系長光 行及長光寺の源

本因系長光 行及長光寺の源

本因系長光 行及長光寺の源

本因系長光 行及長光寺の源

本因系長光 行及長光寺の源

本因系長光 行及長光寺の源

本因系長光 行及長光寺の源

本因系長光 行及長光寺の源

本因系長光 行及長光寺の源

又陶器を割る中焼と

本自政辰 依書一流

北條時政 平時兼の男に侍

北條義時 時政の男江同小に

北條春時 義時の男江同小に

北條時頼 時政の男江同小に

北條時頼 時政の男江同小に

北條時頼 時政の男江同小に

北條時頼 時政の男江同小に

北條時頼 時政の男江同小に

北條時頼 時政の男江同小に

北條時頼 時政の男江同小に

北條時頼 時政の男江同小に

北條時頼 時政の男江同小に

北條時頼 時政の男江同小に

北條時頼 時政の男江同小に

北條時頼 時政の男江同小に

北條時頼 時政の男江同小に

北條時頼 時政の男江同小に

細川道元 道元は名法名常流
細川幽齋 幽齋は名法名常流
細川三齋 三齋は名法名常流

細川三齋 戦中も忠貞
細川三齋 二任肥後隈本

細井廣澤 名法名常流
細井廣澤 謙王 權林庵

細井平沙 名法名常流
細井平沙 志三郎と称す

細井平沙 名法名常流
細井平沙 志三郎と称す

牡丹花 牡丹は名法名常流
牡丹花 牡丹は名法名常流

北枝 名法名常流
北枝 名法名常流

菅提督 名法名常流
菅提督 名法名常流

豊蔵房 名法名常流
豊蔵房 名法名常流

松尾の孫 孫は名法名常流
松尾の孫 孫は名法名常流

豊道生 名法名常流
豊道生 名法名常流

鳳翔 名法名常流
鳳翔 名法名常流

弗多羅 名法名常流
弗多羅 名法名常流

之部 名法名常流
之部 名法名常流

平親王 名法名常流
平親王 名法名常流

平相國 名法名常流
平相國 名法名常流

辨慶 名法名常流
辨慶 名法名常流

辨村 名法名常流
辨村 名法名常流

辨圓 名法名常流
辨圓 名法名常流

遍昭 名法名常流
遍昭 名法名常流

下莊子 名法名常流
下莊子 名法名常流

下和 名法名常流
下和 名法名常流

平原君 名法名常流
平原君 名法名常流

宋元章 名法名常流
宋元章 名法名常流

宋萬鍾 名法名常流
宋萬鍾 名法名常流

邊景昭 名法名常流
邊景昭 名法名常流

平野 名法名常流
平野 名法名常流

豊村 名法名常流
豊村 名法名常流

豊石容命 奇石容命と俱、太玉令の子とす

門をもちの今の
矢大臣也

舎臥親王 天武帝の白子也

後伊周公 中美白の男、同三司の官の臣人

後篤茂 大内記

後惟成 元中兵衛村の男、後の推政と稱、推遺の撰者

後文麗 從五位下、加賀守、八代名公春、後藤齋と号す

書水の此画論

後益道 書論

都良香 計政貞継の男、此書如文、書論に

敏行 按察使、富吉丸の男、此書少得、敏人

俊頼 大御云、後法の男、九条大夫、高人

友則 大内記、七少撰者の内

知盛 平法、善之の男、此書如文、知章の軍の別記とて又とる也

知章 知盛の男、此書如文、知章の軍の別記とて又とる也

内給 仲之持、中原兼遠の女、此書如文、仲之持の妻、後村、此書如文

て書し、相束を

常陸 なる、此書如文、小具、此書如文、なる、後平推、此書如文

時致 河津三、此書如文、泰の男、此書如文、なる、此書如文、なる、此書如文

仇工 著、此書如文、此書如文、此書如文

富撰 分、利、此書如文、此書如文、此書如文

安宅 小、此書如文、此書如文、此書如文

東河 下、此書如文、此書如文、此書如文

富永芳春 道明寺、屋吉、此書如文、此書如文、此書如文

川人、此書如文、此書如文、此書如文

豊臣秀吉 公、此書如文、此書如文、此書如文

吉九、此書如文、此書如文、此書如文

御大明、此書如文、此書如文、此書如文

徳大寺公胤 公、此書如文、此書如文、此書如文

大泉中流

土以富景 公、此書如文、此書如文、此書如文

東野州 公、此書如文、此書如文、此書如文

東亨 公、此書如文、此書如文、此書如文

東江 公、此書如文、此書如文、此書如文

十市 公、此書如文、此書如文、此書如文

鳥希 公、此書如文、此書如文、此書如文

鳥養良宗 慶、此書如文、此書如文、此書如文

鳥山 公、此書如文、此書如文、此書如文

鳥山 公、此書如文、此書如文、此書如文

鳥山 公、此書如文、此書如文、此書如文

鳥山 公、此書如文、此書如文、此書如文

鳥山 公、此書如文、此書如文、此書如文

鳥山 公、此書如文、此書如文、此書如文

鳥山 公、此書如文、此書如文、此書如文

鳥山 公、此書如文、此書如文、此書如文

鳥山 公、此書如文、此書如文、此書如文

氏、此書如文、此書如文、此書如文

等伯、此書如文、此書如文、此書如文

等碩、此書如文、此書如文、此書如文

等春、此書如文、此書如文、此書如文

等本、此書如文、此書如文、此書如文

徳元、此書如文、此書如文、此書如文

才圃、此書如文、此書如文、此書如文

鳥羽、此書如文、此書如文、此書如文

頃阿、此書如文、此書如文、此書如文

東里、此書如文、此書如文、此書如文

東陵、此書如文、此書如文、此書如文

東漸、此書如文、此書如文、此書如文

東山、此書如文、此書如文、此書如文

東州、此書如文、此書如文、此書如文

東品、此書如文、此書如文、此書如文

東庵、此書如文、此書如文、此書如文

東沼、此書如文、此書如文、此書如文

特芳、此書如文、此書如文、此書如文

獨立、此書如文、此書如文、此書如文

長清、此書如文、此書如文、此書如文

長清、此書如文、此書如文、此書如文

長清、此書如文、此書如文、此書如文

長清、此書如文、此書如文、此書如文

ト

ト

ト

ト

獨心 名、世傳、葉流
獨文 名、方柄、葉流

獨秀 名、乾文、妙心寺の

德祥 名、大龍寺の法信、碩学

德翁 名、碩学、法信の法嗣、法

墨芳 名、因縁、友を名、のり子

等禪 甫庵と号、名、のり子

等歳 九州の人、山、の僧、

等貴 名、守、の僧、

東園 名、山、の僧、

東方 名、曼倩、の丈、九尺

東坡居士 姓、蘇、名、軾、字、子、瞻、

董仲舒 漢武帝の時、帷幄、

董其昌 字、玄、名、淳、字、思、白、

董三橋 名、清、字、宜、白、

董可亭 名、寧、法、の、

董敬亭 連、翠、董、と、号、

董愛山 名、友、文、字、六、昌、仁、

杜白 字、元、凱、西、晋、の、人、

杜如晦 名、淹、唐、の、

杜子美 名、甫、後、浣、花、翁、

と号、唐、の、詩、聖、

杜牧 字、牧、之、人、

杜衍 字、玄、名、履、唐、の、

杜董 字、言、晉、檀、岳、と、号、又、在、狂、

杜晏如 名、の、

都懶豊 字、八、子、年、

童曰 名、龍、遊、

目雲無憾 名、の、時、

墨雲 名、大師、流、支、三、義、上、

門入 魏、の、真、和、

持統天皇 天智帝の女、天、

女帝和歌、

忠仁 名、良、房、後、の、

中物 名、法、如、号、道、蓮、の、系、

千葉 名、玄、名、子、

千葉 名、玄、名、子、

徐福 秦、始皇、の時、日、中、来、地、を、

陳元寶 字、六、義、都、既、白、人、

か、入、て、尾、名、を、

長職子 木下氏、後、

長雅 名、月、長、好、門、の、

名、人、

長兵衛 姓、字、未、詳、長、谷、の、人、画、

張一 名、永、海、九、尺、の、人、を、母、

竹翁 名、七、尺、長、破、系、と、号、

竹探 名、氏、名、氏、包、名、登、堂、

直庵 名、氏、名、氏、包、名、登、堂、

二、竹、月、直、庵、と、号、

丈不 名、氏、名、氏、包、名、登、堂、

千代 名、氏、名、氏、包、名、登、堂、

近松 名、氏、名、氏、包、名、登、堂、

定切 名、氏、名、氏、包、名、登、堂、

中島 名、氏、名、氏、包、名、登、堂、

中山 名、氏、名、氏、包、名、登、堂、

中方 名、氏、名、氏、包、名、登、堂、

仲安 名、氏、名、氏、包、名、登、堂、

長子 名、氏、名、氏、包、名、登、堂、

竹庵 名、氏、名、氏、包、名、登、堂、

竹仙 名、氏、名、氏、包、名、登、堂、

竹林 名、氏、名、氏、包、名、登、堂、

元亨 中、

元亨 中、

元亨 中、

ト ト ト ト 十一

日かふ化一を量

千庵 名大緑初本福吉後天
高寺小松永會中寂願字

千霖 名良九遠良の人春屋
の法嗣州入後を懂と号

椿庭 名海壽遠良の人直釋
のの法嗣永年向

定山 名祖林お良の人南福流
のの法嗣安中寂

癡兀 名大惠初お良の人
聖一小徒の願字と号

知月 名寛平四年十月
廿九日寂七十八

知泉 名法の芥子也
松尾の号

智月 名孫孫不活乙州の母之
の父大細流の号

文草 大伴流一信之
仙名の号

仲弓 姓丹名は雍孔川
住河津孫也

張儀 辨舌宏文七世の時
依彦の号

張良 字ハ子房太らるるの号法
を以て漢王の將也

張博 智係操卒の人以て殺を遊
赤松子の遊也此を三男と号

張博 名嵩漢武帝の時
天河小至牛サ二星を見

張中景 名ハ機漢の長沙の太
守也方小年く儒を

雜病論は著次古方の医家
多く此人の祖と云

張飛 字ハ翼德挑挑の我を法
蜀の玄徳は挑挑高を以て

張果 字ハ大信漢の世也
唐玄宗通をせんせと号

張芝 字ハ伯英漢の草書
書城を以て出草書の果也

此小勝て書は字天池水悉く
思ふ世に若くを号と号

張旭 字ハ伯高唐の書は狂
顔もた本ま太白につふ

張衡 字ハ平子後漢の時北極
通一能文を属以又天文

張文成 名法唐の世
晉教小年く吳憲を以て

張華 字ハ季元晉の世
持物志を以て

張子厚 字ハ載樸宋先也
年相の大儒

張南軒 名誠字敬夫朱文
公の祖孫を合乾源

張鏞 字ハ司化宋朝
書は長

張友正 字ハ義祖
字の号

張即之 字ハ温夫
宋の号

張乾 字ハ涪南孟齋と号
宋の号

張天錫 元の号
元の号

張鳳翼 字ハ伯起
明の号

張晟 字ハ德齋
明の号

張瑞圖 字ハ無尺二水と
号明の号

張靈 字ハ夢晉
明の号

張漁 字ハ文甫雲心
と号明の号

張龍章 明朝の
画家

張路 平山と号
明の画家

張豫章 字ハ奇亭
法の号

張士甄 字ハ謙紫
法の号

張公俊 字ハ立川と号
法の号

張南旦 法相の
画家

張御來 字ハ篤六通圃と号
法の号

張穆 字ハ鐵橋乃人と号
法の号

張適 字ハ雀氏
清の号

張璐 字ハ路玉石頑と号
法の号

陳平 字ハ孺子漢の相
の号

陳思王 魏文帝の三子天下の
文章一石すして斗也得る
又七歩の号と号

陳子昂 字ハ伯玉唐
の詩人

陳堯佐 字ハ希元
宋の号

陳知柔 字ハ介二休高居士
と号天の口山かたて号

陳繼儒 字ハ仲醇眉公と号
明朝の書を著し

陳獻章 字ハ公甫白沙先生
と号明朝の儒家

陳淳 字ハ道復白陽と号
明の号

陳洪綬 字ハ章侯名在と
号明の号

陳公甫 江村居士と号
明の号

陳子利 字ハ仙と号
明の号

陳少逸 字ハ少和
法の号

十三

陳正朔 龍居士と号

陳彦 字六雲 龜止竹と号

陳鳳占 林屋と号 法人と号

陳東白 名新 法人と号

陳邦興 字八承 一雲 詩と号

陳叔采 字六采 各を号と号

陳賢 字八希 三太 道人と号

褚遂良 字八登 右侍 文法書 隸書 工入唐

の功臣

褚獻良 字八明 世梅 披と号

褚家 字八倉 書

沈南蘋 名詒 字衡 齋 吳興の人 画風一統 成

日本の人 画を唐画と稱

沈必 字方 鄴 所齋と号

徐昂 唐の世 天文 曆教 書

徐光啓 明 相の大臣 天文 曆教 書

如 山 宋 頑 曆と

徐中 字八子 與天 目中 人と号

徐景 字八石 魯 洪 甄子と号

徐有濟 字八傳 舟 法人と号

徐嘉齡 字八鶴 年古 狂と号

徐誥武 字八孟 孟 楮と号

徐樹三 情 湖の画家

智者大師 陳隋二朝の法師 天台宗の祖 唐の

止観を著し 用智十七年 十月廿四日寂

知日永 俗姓王氏 右軍の遠孫 名

飛 弟 玄 奇 從 尚 時 を 京 出 せ の せ

智果 隋の世 永興寺 小 塔 を 煬 帝 其 書 法 師 智 永

右軍の肉を 智果 骨 骸 け せ り と 稱 せ り

智海 名通 山 南 峯 峯

中峯 名明 中 元 湖 の 邊

癡 後 狂 道 冲 宗 の 邊

竹堂 名如 源 乾 堂 と 号

注茶半 託迦 者 漢

の之部

李欽 若 良 の 人 明 山 入 て

隆達 日蓮 宗 の 僧 法 格 書 法 師 又 主 教 の 外 せ り

利休 千 氏 後 宗 湯 茶 師

立圃 千 氏 叔 弟 龍 谷 坊 主

立志 玄圃 門 柳 林

良暹 能 因 同 時 の 人

李中 俗 姓 通 昭 寺 の 僧

柳下惠 姓 展 名 李 會 魯

柳下惠 姓 展 名 李 會 魯

柳公權 唐 文 宗 の 詔 書 下 せ

柳含元 字八子 厚 唐 の 世 文

李斯 楚 人 秦 始 皇 に 用 せ ら

李夫人 帝 の 妃 傾 宮 の 災 人

李密 隋 の 世 牛 に 乘 っ て 漢 公

角に掛 後 官 儀

李太白 名 白 觀 字 太 白 青 蓮

世に太白 星の化身と稱

李道傳 字八仲 貴 唐 の 世

李嘉祐 字八從 一 唐 の 人

李嶠 字八子 山 唐 大 曆

李泌 唐 王 宗 の 時 七 支 也

李淳風 唐 の 世 曆 教 師

李延平 名 侗 字 愿 仲 孫 疎

李東垣 名 果 字 明 之 元 朝 の 医 術 師

李于鱗 名 攀 龍 滄 浪 と 号

李昭玘 字 成 季 宋 朝

李建中 字 得 中 宋 の 老 家

李維禎 字 本 寧 太 必 と 号

李夢陽 字 獻 吉 本 同 と 号

李東陽 字 八 賓 之 西 涯 と 号

子

子

り

十四

李執賢 字長緒 蜀人

李方流 字長緒 蜀人

李陽海 字長緒 蜀人

李若 字長緒 蜀人

李用儔 字大瞻 隨州人

李魚 字長緒 蜀人

李長暉 字長緒 蜀人

李庚 字長白 蜀人

李良佐 字長白 蜀人

李章 字長白 蜀人

子之 蜀人

陸遜 字伯言 吳人

陸績 字公紀 吳人

陸士衡 字孟衡 吳人

陸士龍 字孟威 吳人

陸士靜 字孟節 吳人

陸九齡 字公深 洪州人

陸九齡 字公深 洪州人

陸東之 字公深 洪州人

陸彥通 字公深 洪州人

陸游 字公深 洪州人

陸游 字公深 洪州人

李之 蜀人

陸道 字公深 洪州人

陸士 字公深 洪州人

陸包 字公深 洪州人

陸闓 字公深 洪州人

陸鳥時 字公深 洪州人

陸向 字公深 洪州人

陸倫 字公深 洪州人

陸易 字公深 洪州人

陸平叔 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

①

①

①

①

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

陸景晏 字公深 洪州人

龍猛菩薩 南天竺王の太子

龍智菩薩 南天竺の太子

龍樹大師 西天竺の人

又無之部

又無之部

又無之部

又無之部

又無之部

又無之部

又無之部

又無之部

又無之部

又無之部

又無之部

又無之部

又無之部

又無之部

又無之部

又無之部

小倉三省 名を克定改義

岡部六弥太 太洗と稱

岡西惟中 一時の号

岡本半助 改義

岡元震 石圃と号

岡龍淵 名を白鶴

岡島冠山 名を珠

岡島明教 名を房

岡中抱子 名を房

岡中抱子 名を房

岡中抱子 名を房

岡中抱子 名を房

岡中抱子 名を房

岡中抱子 名を房

岡中抱子 名を房

岡中抱子 名を房

岡中抱子 名を房

岡中抱子 名を房

岡中抱子 名を房

尾舟乾山 名を光琳

尾舟乾山 名を光琳

尾舟乾山 名を光琳

尾舟乾山 名を光琳

尾舟乾山 名を光琳

尾舟乾山 名を光琳

尾舟乾山 名を光琳

尾舟乾山 名を光琳

尾舟乾山 名を光琳

尾舟乾山 名を光琳

尾舟乾山 名を光琳

尾舟乾山 名を光琳

尾舟乾山 名を光琳

尾舟乾山 名を光琳

尾舟乾山 名を光琳

尾舟乾山 名を光琳

尾舟乾山 名を光琳

尾舟乾山 名を光琳

尾舟乾山 名を光琳

絶方寛仁の長者
元人伝説も

大伴黒主オホトモノシロシ 小舟山と和家河

大伴真鳥オホトモノマコ 下り

大久保忠教オホクボタカキ 志茂馬と孫武切
オホクボタカキの幕府士

大磯七郎オホイソチロウ 志茂馬の遊女と我
十市法成親むね

大内義隆オホウチノヨシタカ 志茂馬の孫
門守七郎の志茂

大内熊目オホウチノクマメ 志茂馬の孫
志茂馬と孫南郡人

大恩春オホオンハル 志茂馬の孫
志茂馬の孫

大西醉月オホセシヅキ 志茂馬の孫
志茂馬の孫

大田敦素オホタノアキラ 志茂馬の孫
志茂馬の孫

大森玉オホモリタマ 志茂馬の孫
志茂馬の孫

大鹽教オホシホノタカ 志茂馬の孫
志茂馬の孫

大技流オホワザリウ 志茂馬の孫
志茂馬の孫

大石道教オホイシノミチタカ 志茂馬の孫
志茂馬の孫

大石良雄オホイシノヨシユキ 志茂馬の孫
志茂馬の孫

大高重オホタカシゲ 志茂馬の孫
志茂馬の孫

大橋守政オホハシノモリサダ 志茂馬の孫
志茂馬の孫

大橋宗桂オホハシノムネキ 志茂馬の孫
志茂馬の孫

大橋宗桂オホハシノムネキ 志茂馬の孫
志茂馬の孫

大橋宗桂オホハシノムネキ 志茂馬の孫
志茂馬の孫

大橋宗桂オホハシノムネキ 志茂馬の孫
志茂馬の孫

将棊オウゴ の
名人

大橋宗古オホハシノムネキ 宗桂の男
宗桂の孫

大橋オホハシ 志茂馬の孫
志茂馬の孫

大田道灌オホタノミチノリ 志茂馬の孫
志茂馬の孫

大田道灌オホタノミチノリ 志茂馬の孫
志茂馬の孫

大田道灌オホタノミチノリ 志茂馬の孫
志茂馬の孫

大田道灌オホタノミチノリ 志茂馬の孫
志茂馬の孫

大田道灌オホタノミチノリ 志茂馬の孫
志茂馬の孫

大田道灌オホタノミチノリ 志茂馬の孫
志茂馬の孫

大田道灌オホタノミチノリ 志茂馬の孫
志茂馬の孫

大田道灌オホタノミチノリ 志茂馬の孫
志茂馬の孫

大田道灌オホタノミチノリ 志茂馬の孫
志茂馬の孫

大田道灌オホタノミチノリ 志茂馬の孫
志茂馬の孫

大田道灌オホタノミチノリ 志茂馬の孫
志茂馬の孫

大田道灌オホタノミチノリ 志茂馬の孫
志茂馬の孫

大田道灌オホタノミチノリ 志茂馬の孫
志茂馬の孫

大田道灌オホタノミチノリ 志茂馬の孫
志茂馬の孫

大田道灌オホタノミチノリ 志茂馬の孫
志茂馬の孫

大田道灌オホタノミチノリ 志茂馬の孫
志茂馬の孫

大田道灌オホタノミチノリ 志茂馬の孫
志茂馬の孫

大田道灌オホタノミチノリ 志茂馬の孫
志茂馬の孫

漢カン 鳥獲トウカク 壯勇
士と好大を極く

温庭筠オンテイユン 唐人

歐陽修オウヤウシウ 宋人

歐陽修オウヤウシウ 宋人

歐陽修オウヤウシウ 宋人

歐陽修オウヤウシウ 宋人

歐陽修オウヤウシウ 宋人

歐陽修オウヤウシウ 宋人

歐陽修オウヤウシウ 宋人

歐陽修オウヤウシウ 宋人

歐陽修オウヤウシウ 宋人

歐陽修オウヤウシウ 宋人

歐陽修オウヤウシウ 宋人

歐陽修オウヤウシウ 宋人

歐陽修オウヤウシウ 宋人

歐陽修オウヤウシウ 宋人

歐陽修オウヤウシウ 宋人

歐陽修オウヤウシウ 宋人

歐陽修オウヤウシウ 宋人

歐陽修オウヤウシウ 宋人

歐陽修オウヤウシウ 宋人

之部

王仁オウニ 漢人

和氣清磨ワケキキヨモリ 漢人

和氣清磨ワケキキヨモリ 漢人

和氣清磨ワケキキヨモリ 漢人

和氣清磨ワケキキヨモリ 漢人

和氣清磨ワケキキヨモリ 漢人

和氣清磨ワケキキヨモリ 漢人

和氣清磨ワケキキヨモリ 漢人

和氣清磨ワケキキヨモリ 漢人

和氣清磨ワケキキヨモリ 漢人

和氣清磨ワケキキヨモリ 漢人

和氣清磨ワケキキヨモリ 漢人

和氣清磨ワケキキヨモリ 漢人

和氣清磨ワケキキヨモリ 漢人

和氣清磨ワケキキヨモリ 漢人

和氣清磨ワケキキヨモリ 漢人

和氣清磨ワケキキヨモリ 漢人

和氣清磨ワケキキヨモリ 漢人

和氣清磨ワケキキヨモリ 漢人

和氣清磨ワケキキヨモリ 漢人

和氣清磨ワケキキヨモリ 漢人

三好 晋の氏

漢 王倪 字君明 東王公の号 万物を死せしめて天と

比小入男子と偽作の者

王子喬 晋好で字を以て他

を乃白鶴の号

王質 石室小本を伐仙人の

の柄扇を遊ぶは晋の

年軟着用なる者

王陵 母を殺す者

王莽 漢の天下を篡り帝位

小昇公を新と改後漢の

光武帝の号

王昭君 漢元帝の文姫匈奴

王充 字仲丘 後漢の人

王肅 字子雍 魏の人

王弼 字叔嗣 魏の人

王祥 字太叔 魏の人

王戎 字太叔 魏の人

王羲之 字逸少 晋の人

王戎 字太叔 魏の人

王羲之 字逸少 晋の人

王羲之 字逸少 晋の人

王羲之 字逸少 晋の人

王子猷 羲之の子 名徽之 風

王獻之 羲之の弟 子子敬之

王通 隋の時 文の学 世を以て

王冰 啓天子と号 唐人 医

王維 字大 諱唐の号

王昌齡 唐の号

王勃 字子安 文中子の孫

王邵 字君懋 勅が本

王安石 字介甫 荆公の号

王柏 字会之 号 美と号

王應麟 字伯厚 宋人

王幼學 字子修 宋人

王安中 字履中 宋の

王都中 字元俞 本 宋の

王淵 字元之 宋の

王陽明 字守仁 宋の

王穉登 字百穀 清の

王世貞 字元美 明の

王世懋 字敬美 明の

王龍 字履 明の

王毅 字 明の

王毅 字 明の

王毅 字 明の

王立 明の

王乾 明の

王世祥 戴文進の号

王武 明の人

王緒祖 明の

王毓賢 明の

王清叔 明の

王士禛 明の

王任治 明の

王震 明の

王從 明の

王揚烈 明の

王遠昌 明の

王蘆泐 明の

王克寬 明の

王道昆 明の

汪肇 明の

汪晉徵 明の

汪鵬 明の

汪旭 明の

汪通武 明の

汪通武 明の

汪通武 明の

力之部

カニコチミコト 天竺代
惶根尊の降神

カガツチナノミコト 又天降具
軻遇突智命 称天照太孫

カニノヒコト 中井火球系

カニノヒコト 桓武帝の皇子
葛原親王 出孫系も望まふ

カニノヒコト 初て平姓を

カニノヒコト 美努王の皇子を捕
葛城王 姓を揚徳足るを稱

カニノヒコト 天平御宇
井の丸大臣を

カニノヒコト 和名の人を假名に傳
鎌足之 和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
藤原母一内大臣を大伴作に

カニノヒコト 和名もとる途に入り
と改及系北大臣尉を揚ふ和

カニノヒコト 和名もとる途に入り
川を以て出まふ

カニノヒコト 和名もとる途に入り
和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
和名もとる途に入り

カニノヒコト 参議是を名に男名
菅原相 乃まよはし文也持

カニノヒコト 和名もとる途に入り
後天は夫自在威徳天神と宗

カニノヒコト 菅原の臣男
菅原淳茂 菅原の臣男

カニノヒコト 和名もとる途に入り
菅原惟規 和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
菅原庶幾 和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
菅原三品 和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
菅原相昭 和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
和名もとる途に入り

カニノヒコト 出るも同例

カニノヒコト 二位持大納言
鳥丸光廣卿 法皇系翁孫

カニノヒコト 出人の

カニノヒコト 大納言を法上
鳥丸資廣卿 代流分出家

カニノヒコト 田原貞光の皇子
勾當内侍 田原貞光の皇子

カニノヒコト 仁明帝の皇子
掃部政貞卿 仁明帝の皇子

カニノヒコト 和名もとる途に入り
和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
和名もとる途に入り

カニノヒコト 元平家の伯耆守
大不知叔 後醍醐天皇の御孫

カニノヒコト 和名もとる途に入り
和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
和名もとる途に入り

カニノヒコト 和名もとる途に入り
和名もとる途に入り

韓忠彦 宋徽宗の賢相

韓偓 唐末の詩人、後梁を執

韓承 月胡の画家

漢高祖 楚の項羽と天下を争ひ竟一統の功を

漢武帝 武帝の世の武帝

樂毅 趙の軍師望諸君

樂正子 魯の孟子の子

苜蓿 漢の鄴を

苜蓿 漢の鄴を

苜蓿 漢の鄴を

何母 魏の平叔

何承天 元嘉の詩人

何壽餘 号采芝

何中 元の画家

何高福 明の画家

何景明 明の文家

耳石 名徳齊人

岳飛 宋の良臣、大勝拳し、

賀正 宋の趙匡胤の詔

賀正 宋の趙匡胤の詔

賀正 宋の趙匡胤の詔

賀知章 字季真、四明の狂

賈誼 漢文帝の時長沙王の太

賈島 字浪仙、唐の詩人

文宗 文宗の世

和九思 名相、世を以て

康里巎 字子山、元の書

何天碧 元の画家

赤敬 名相、世を以て

蝦蟇仙 名相、世を以て

散聖 二人の名

唐太宗の御書

戒賢 名僧

角三 名僧

可一 名僧

加旃 名僧

加諾 名僧

迦哩 名僧

用明天皇 敏達帝の御書

用明天皇 敏達帝の御書

用明天皇 敏達帝の御書

用明天皇 敏達帝の御書

良岑 春道 延喜の相

良岑 春道 延喜の相

好忠 名僧

能宣 名僧

義孝 名僧

義家 名僧

義経 名僧

義経 名僧

義経 名僧

義経 名僧

義経 名僧

義経 名僧

義経 名僧

義経 名僧

義経 名僧

義経 名僧

義経 名僧

義経 名僧

義経 名僧

義経 名僧

義経 名僧

カヨ

カヨ

世二

の田豆別大権

二條大権

清原大権

忠見

忠見

忠見

忠見

忠見

忠見

忠見

忠見

忠見

忠見

忠見

忠見

忠見

忠見

忠見

忠見

忠見

玉藻前

玉置香道

玉井持軒

玉井持軒

玉井持軒

玉井持軒

玉井持軒

玉井持軒

玉井持軒

玉井持軒

玉井持軒

玉井持軒

玉井持軒

玉井持軒

玉井持軒

玉井持軒

玉井持軒

玉井持軒

玉井持軒

玉井持軒

探進

大祇

問水

春登

権

道

道

道

道

道

道

道

道

道

道

道

道

道

道

道

靈源 有海脈黃蘗流の
碩徳と云

了庵 名桂格有得流のを法
又元相の傳を同名あり
名は法教南堂遺老と稱し
書法者なり

漢 列子 名御景好乃御景好
風子余虚堂以行唐

の時冲虚真人と諡
先莊の並に稱す

解 食具 家員也そ書法
好漢をも祖小徒功
あり軍中教を中一煮穀
こし

靈照 女 龐居士の常流の流
レイコトソシ 説を猶胡夕の法
今柳徳茶 唐の女子茶師

龐頭 蘭相如と感多る人
後用書を傳り

廣布 宣仲射以老農と

秘仲 瑾 元の畫家
連素 衡 白平
の畫家
靈石 名如芝定の
の部

素素 鳴 天照太神の身出ま
田飛線要法て三十まをのわ
を流り牛吹天王と云ま
夜通 姫 允恭帝の妃大中娘妹
松島の経并ま津島
宗心 負持水因所と
稱画家

尊意 遠江の人息長氏獻山土垂
信法收房天慶三年月
宗上初秘をまらる

宗泉 宗次氏松葉門
画家

宗祐 元依の画凡哉
よくせ

宗達 名伊年法橋のあ人
画凡一家

宗碩 宗祇門月村齋と号
連方の遊人

宗長 孫別の人宗祇系哉
信及明の比連歌をも
兼裁き碩より信及

宗牧 孫の比連歌をも
宗祇門廣長の比法橋
宗貞貞信子門人

宗珠 信光の孫也宗祇系
の孫也信光の孫也

宗悟 土居信齋と稱宗泉
仍同門宗珠をせり
月より宗自と

宗易 宗如氷ノ下子と号
香舟門人画のをも
宗因 連歌ハ昌孫門人と号
天海庵麻屋所
一庵をたの延中宗武と
西山寺一坐又塔石上林

宗此 宗石 宗大君林名宗漢と号
信宗の画を信人
宗繁 宗宗宗宗宗宗宗宗
宗魚 宗宗宗宗宗宗宗宗
曾呂 宗新宗宗宗宗宗宗
園方 宗宗宗宗宗宗宗宗
風小宗宗宗宗宗宗宗宗
事宗宗宗宗宗宗宗宗宗

素堂 山民今自号
芭蕉と友なり

存義 馬場有庵
宗宗宗宗宗宗宗宗

素月 名井氏公元景宗宗宗
福西湖と号書を宗宗

此年別號として御樹の八坂氏宗
龍崎唐如子と稱七十餘
近年没也今人名傳利到及
も入る存義素月と御士乃

遺を信傳れも宗宗宗宗
敏宗の宗宗宗宗宗宗宗宗

男宗井永方宗宗宗宗宗宗
因 御目庵門人して印刻を宗宗

素宗 宗宗宗宗宗宗宗宗
入又子宗宗宗宗宗宗宗宗

尊教 宗宗宗宗宗宗宗宗
宗宗宗宗宗宗宗宗宗宗

宗宗 宗宗宗宗宗宗宗宗
宗宗宗宗宗宗宗宗宗宗

宗宗 宗宗宗宗宗宗宗宗
宗宗宗宗宗宗宗宗宗宗

宗宗 宗宗宗宗宗宗宗宗
宗宗宗宗宗宗宗宗宗宗

宗宗 宗宗宗宗宗宗宗宗
宗宗宗宗宗宗宗宗宗宗

宗宗 宗宗宗宗宗宗宗宗
宗宗宗宗宗宗宗宗宗宗

宗宗 宗宗宗宗宗宗宗宗
宗宗宗宗宗宗宗宗宗宗

宗宗 宗宗宗宗宗宗宗宗
宗宗宗宗宗宗宗宗宗宗

梵石 名 齊西齋老人と号す

漁頼 地名者 十の漢

之部

經臣 友承流名の男 狂草の名人

經法 後太宰府の元通人

經隆 友承流の元通下の子

經光 友承流の元通の子

常世 世長依世の流名

常法 世長依世の流名

常長 世長依世の流名

貫之 世長依世の流名

通玄 世長依世の流名

土藏 世長依世の流名

土藏 世長依世の流名

土藏 世長依世の流名

土藏 世長依世の流名

土藏 世長依世の流名

土藏 世長依世の流名

土藏 世長依世の流名

土藏 世長依世の流名

土藏 世長依世の流名

土藏 世長依世の流名

土藏 世長依世の流名

継山 拾遺 名 権持の門人

通谷 名 費山胡の頂

子之部

根井 大 行執と孫木名

彌衛 名 別御穂穂

中院 通秀 名 一佐内大臣

十之部

中村 永昌 名 常

中村 永昌 名 常

中村 永昌 名 常

中村 永昌 名 常

中村 永昌 名 常

中村 永昌 名 常

中村 永昌 名 常

中村 永昌 名 常

中村 永昌 名 常

中村 永昌 名 常

中村 永昌 名 常

中村 永昌 名 常

中村 永昌 名 常

中村 永昌 名 常

中村 永昌 名 常

中村 永昌 名 常

中根 元 名 天字

中山 高陽 名 延中子

中山 三 名 延中子

中西 泰 名 延中子

中澤 道 名 延中子

那須 與 名 延中子

那波 活 名 延中子

那波 亦 名 延中子

那波 亦 名 延中子

那波 亦 名 延中子

那波 亦 名 延中子

那波 亦 名 延中子

那波 亦 名 延中子

那波 亦 名 延中子

那波 亦 名 延中子

那波 亦 名 延中子

那波 亦 名 延中子

那波 亦 名 延中子

那波 亦 名 延中子

那波 亦 名 延中子

那波 亦 名 延中子

那波 亦 名 延中子

那波 亦 名 延中子

那波 亦 名 延中子

素水門人光信也一家門
鳥石松下身衣君獄後首辰
かて一家

宇治文 源氏のもの
宇治文 源氏のもの

宇治文 源氏のもの
宇治文 源氏のもの

宇治文 源氏のもの
宇治文 源氏のもの

宇治文 源氏のもの
宇治文 源氏のもの

宇治文 源氏のもの
宇治文 源氏のもの

宇治文 源氏のもの
宇治文 源氏のもの

宇治文 源氏のもの
宇治文 源氏のもの

宇治文 源氏のもの
宇治文 源氏のもの

宇治文 源氏のもの
宇治文 源氏のもの

宇治文 源氏のもの
宇治文 源氏のもの

于定圃 字公升 東晉の府
千石 晋記二千卷を編
千石 晋記二千卷を編

鳥古孫 良楨 齊と号元の
鳥古孫 良楨 齊と号元の

優遊 謝安 持戒第
優遊 謝安 持戒第

野見宿禰 出雲の力士尚麻
野見宿禰 出雲の力士尚麻

野中 山 兼山と号 時中の人
野中 山 兼山と号 時中の人

野間 之竹 字子竹 靜の号
野間 之竹 字子竹 靜の号

野村 東阜 新を号と号
野村 東阜 新を号と号

野間 玄次 東井玄初門人 東
野間 玄次 東井玄初門人 東

後中書王 中務具平親之
後中書王 中務具平親之

後江相 玄圃の男 参平相
後江相 玄圃の男 参平相

後系 櫻枝 玄の男を
後系 櫻枝 玄の男を

教人 世法 後のを
教人 世法 後のを

信春 春日の法 弘法
信春 春日の法 弘法

能阿 蓮教の門人 弘法
能阿 蓮教の門人 弘法

能阿 蓮教の門人 弘法
能阿 蓮教の門人 弘法

能阿 蓮教の門人 弘法
能阿 蓮教の門人 弘法

能阿 蓮教の門人 弘法
能阿 蓮教の門人 弘法

能阿 蓮教の門人 弘法
能阿 蓮教の門人 弘法

能阿 蓮教の門人 弘法
能阿 蓮教の門人 弘法

能阿 蓮教の門人 弘法
能阿 蓮教の門人 弘法

能阿 蓮教の門人 弘法
能阿 蓮教の門人 弘法

能阿 蓮教の門人 弘法
能阿 蓮教の門人 弘法

吳織 支那吳縣の女工織器帝
の胡小織織等とてのい
及まう

久米伯人 女の脛の白にやまて
通九の先ひはる

久彌守 門人東の画
久彌守 門人東の画

九條道系 後系極良後
の男極良白

九條祐通 公の男良白
公の男良白

九條 後系極良後
の男極良白

穴 支那集小出
他者女の右人

工 一龍なまつ尉と稱
皇士野の獨場にて

邦 七門帝の五子
休安史志は子

徳 極旨帝の後流と
徳の男極良

徳 長記 下の大空は
かたの空と

徳 伯能又見海と稱

三二八の助とては樹門人
幼か山藩の大儒

徳代 江名、世系と進と稱
其伯人、註書子とて山

楠正成 楠正成の男多門藩
良將至志世の無流と稱

楠長 楠長流公一家

素山 素山仙、世系と祝
世系と祝

素山 素山仙、世系と祝
世系と祝

串崎 串崎武光、世系と祝
世系と祝

久須 久須、世系と祝
世系と祝

黒川 黒川、世系と祝
世系と祝

黒田 黒田、世系と祝
世系と祝

空也 空也、世系と祝
世系と祝

年九月十日叙七十

空合 空合、世系と祝
世系と祝

元三 元三、世系と祝
世系と祝

公 公、世系と祝
世系と祝

愚極 愚極、世系と祝
世系と祝

愚極 愚極、世系と祝
世系と祝

愚極 愚極、世系と祝
世系と祝

和箱 和箱、世系と祝
世系と祝

快川 快川、世系と祝
世系と祝

黄 黄、世系と祝
世系と祝

黄 黄、世系と祝
世系と祝

黄 黄、世系と祝
世系と祝

黄 黄、世系と祝
世系と祝

寧中

黃士毅 字子洪 朱子門人

黃道謙 字逸齋 宋の秘書

黃宣 字載倫 去洪と号 宋の書き手

黃正宗 字八因可 宋の書き手

黃謙 字八指之 宋之と号 宋の書き手

黃尚質 明の画家

黃璧 字六台元 宋の画家

上虞舜 姓姚 名重華 字雍 都君考及成帝

上虞嘉 宋晋の八天文醫 教を授け給て 蘇維世

虞世南 字伯施 文中書以 文を授け 智永の字

虞氏 楚項羽の妃 吳人

虞般 字仲常 元胡 宋の書手

虞集 字伯生 魯若 宋の書手

管仲 名夷吾 齊桓公用 諸侯の宰相

管寧 字幼安 漢の 宋の書手

管尹子 名善 晋子の門人 宋の書手

管羽 名雲 長蜀の王 法は技 宋の書手

帝と称するもの

他字元化 老年より 宋の書手

孫匡と稱魏武帝とを叙 宋の書手

屈原 名平 字天均 楚懐 宋の書手

屈長沙 名詭 宋の書手

孔頴達 字仲達 孔子三王世 唐の書手

公羊高 字夏 春秋傳 宋の書手

郭璞 字景純 晋の書手

郭巨 字元 宋の書手

郭子儀 唐の書手

郭從義 宋の書手

郭敏 元の書手

郭守敬 天文学者 宋の書手

郭守敬 天文学者 宋の書手

郭守敬 天文学者 宋の書手

郭守敬 天文学者 宋の書手

郭守敬 天文学者 宋の書手

郭守敬 天文学者 宋の書手

郭守敬 天文学者 宋の書手

郭守敬 天文学者 宋の書手

郭守敬 天文学者 宋の書手

郭守敬 天文学者 宋の書手

郭守敬 天文学者 宋の書手

郭守敬 天文学者 宋の書手

郭守敬 天文学者 宋の書手

瞿雲沙 彌 瞿曇の 宋の書手

弘忍 大師 宋の書手

陽成院 宋の書手

陽成院 宋の書手

陽成院 宋の書手

陽成院 宋の書手

陽成院 宋の書手

陽成院 宋の書手

陽成院 宋の書手

陽成院 宋の書手

陽成院 宋の書手

陽成院 宋の書手

陽成院 宋の書手

陽成院 宋の書手

陽成院 宋の書手

陽成院 宋の書手

陽成院 宋の書手

陽成院 宋の書手

陽成院 宋の書手

陽成院 宋の書手

陽成院 宋の書手

陽成院 宋の書手

陽成院 宋の書手

山本復齋 源後と称海見
儒教

山本維宗 一流

山口香溪 梅庵と称牧溪
香舟の凡を述ひ

系所近世の
名画

山科李溪富 宗隆と号
画家

山崎周齋 名嘉字八敬
并初修徳寺

俗儒字一家 又一家 又一家
新加納と称天和二年九月
十二日没六十二下也其本

山縣周南 名考字次
少助と称徂徠

門人長府の
儒

山本 名尚徳及他と
山本 名尚徳及他と

方一庵の
名

山元隣 字八幡浦傍人
李西の歌人

山元宗 名考字次
少助と称徂徠

室和尙の
又

山鹿素行 名六の祐を
清と称甲別流

兵衛家大石良雄も
門人

山下屋内 享保の比本武の
逸民

山中道徳 徳比と称凡齋又
光徳と号大徳

弟東次
名

小田道安 名功と称和名
用文字舟の風

をそのひ一家
をそのひ一家

山田宗備 宗且門人
山田 近世公筆の

也足形 中洗通徳法名素
流より名法

一家和名の名
度長中折

矢野 名考字次
少助と称徂徠

柳川 名考字次
少助と称徂徠

木村 名考字次
少助と称徂徠

後田 名考字次
少助と称徂徠

月石 名考字次
少助と称徂徠

教 名考字次
少助と称徂徠

教 名考字次
少助と称徂徠

野坡 名考字次
少助と称徂徠

橋 名考字次
少助と称徂徠

安村 名考字次
少助と称徂徠

揚月 名考字次
少助と称徂徠

陽峯 名考字次
少助と称徂徠

養叟 名考字次
少助と称徂徠

養叟 名考字次
少助と称徂徠

養叟 名考字次
少助と称徂徠

養叟 名考字次
少助と称徂徠

養叟 名考字次
少助と称徂徠

養叟 名考字次
少助と称徂徠

養叟 名考字次
少助と称徂徠

揚子 名朱我のふまの
立雲子と号

揚雄 名子雲揚子と号
新の王莽の大失

揚惲 名子雲揚子と号
新の王莽の大失

揚脩 名子雲揚子と号
新の王莽の大失

揚貴妃 名子雲揚子と号
新の王莽の大失

揚萬里 名子雲揚子と号
新の王莽の大失

揚人龍 名子雲揚子と号
新の王莽の大失

揚月洞 名子雲揚子と号
新の王莽の大失

揚雍建 名子雲揚子と号
新の王莽の大失

揚律楚 名子雲揚子と号
新の王莽の大失

耶輸陀 名子雲揚子と号
新の王莽の大失

之部

滿仲 名子雲揚子と号
新の王莽の大失

將門 名子雲揚子と号
新の王莽の大失

反 名子雲揚子と号
新の王莽の大失

反 名子雲揚子と号
新の王莽の大失

反 名子雲揚子と号
新の王莽の大失

反 名子雲揚子と号
新の王莽の大失

反 名子雲揚子と号
新の王莽の大失

反 名子雲揚子と号
新の王莽の大失

反 名子雲揚子と号
新の王莽の大失

反 名子雲揚子と号
新の王莽の大失

ヤ

ヤ

ヤ

世四

孟東野 名、郊、字、孟、郊、唐、人、
孟浩然 名、浩、字、浩然、行、唐、
孟 五代、蜀、人、之、孟、方、城、
蜀、本、草、唐、李、商、隱、詩、
麻耶夫人 天竺、之、百、八、年、の、
麻耶夫人 天竺、之、百、八、年、の、
麻耶夫人 天竺、之、百、八、年、の、

フ之部

謙德 公、貞、信、公、の、孫、九、名、
三、年、孝、伊、妻、之、儀、天、祿、
三、年、孝、伊、妻、之、儀、天、祿、
三、年、孝、伊、妻、之、儀、天、祿、

物産 功、功、功、功、功、功、
南江 名、南、江、唐、一、
大平記 庭訓、
玄陳 連、波、唐、也、
玄也 名、玄、也、唐、人、の、
兼也 名、兼、也、唐、人、の、

兼裁 平、姓、孫、孫、孫、孫、
比連 名、比、連、名、の、
元紹 紹、巴、の、嗣、昌、昌、の、
元白 元、紹、の、嗣、
健甫 名、健、甫、名、の、
慶 慶、名、の、
源九佛 名、源、九、佛、名、の、
源九佛 名、源、九、佛、名、の、

源九佛 名、源、九、佛、名、の、
源九佛 名、源、九、佛、名、の、
源九佛 名、源、九、佛、名、の、
源九佛 名、源、九、佛、名、の、
源九佛 名、源、九、佛、名、の、
源九佛 名、源、九、佛、名、の、
源九佛 名、源、九、佛、名、の、

源九佛 名、源、九、佛、名、の、
源九佛 名、源、九、佛、名、の、
源九佛 名、源、九、佛、名、の、
源九佛 名、源、九、佛、名、の、
源九佛 名、源、九、佛、名、の、
源九佛 名、源、九、佛、名、の、
源九佛 名、源、九、佛、名、の、

玄光 名、玄、光、名、の、
玄光 名、玄、光、名、の、
玄光 名、玄、光、名、の、
玄光 名、玄、光、名、の、
玄光 名、玄、光、名、の、
玄光 名、玄、光、名、の、
玄光 名、玄、光、名、の、

玄光 名、玄、光、名、の、
玄光 名、玄、光、名、の、
玄光 名、玄、光、名、の、
玄光 名、玄、光、名、の、
玄光 名、玄、光、名、の、
玄光 名、玄、光、名、の、
玄光 名、玄、光、名、の、

玄光 名、玄、光、名、の、
玄光 名、玄、光、名、の、
玄光 名、玄、光、名、の、
玄光 名、玄、光、名、の、
玄光 名、玄、光、名、の、
玄光 名、玄、光、名、の、
玄光 名、玄、光、名、の、

原憲 字子思 魯之宋子
 葉海 名中 漢元帝甲子
 景暉 名中 漢元帝甲子
 景聰 名中 漢元帝甲子
 景暉 名中 漢元帝甲子
 應申 名中 漢元帝甲子
 應申 名中 漢元帝甲子

原憲 字子思 魯之宋子
 葉海 名中 漢元帝甲子
 景暉 名中 漢元帝甲子
 景聰 名中 漢元帝甲子
 景暉 名中 漢元帝甲子
 應申 名中 漢元帝甲子
 應申 名中 漢元帝甲子

原憲 字子思 魯之宋子
 葉海 名中 漢元帝甲子
 景暉 名中 漢元帝甲子
 景聰 名中 漢元帝甲子
 景暉 名中 漢元帝甲子
 應申 名中 漢元帝甲子
 應申 名中 漢元帝甲子

月 名中 漢元帝甲子
 月 名中 漢元帝甲子
 月 名中 漢元帝甲子
 月 名中 漢元帝甲子
 月 名中 漢元帝甲子
 月 名中 漢元帝甲子

月 名中 漢元帝甲子
 月 名中 漢元帝甲子
 月 名中 漢元帝甲子
 月 名中 漢元帝甲子
 月 名中 漢元帝甲子
 月 名中 漢元帝甲子

月 名中 漢元帝甲子
 月 名中 漢元帝甲子
 月 名中 漢元帝甲子
 月 名中 漢元帝甲子
 月 名中 漢元帝甲子
 月 名中 漢元帝甲子

不角 立羽氏松月堂未得門
盤林編築造りくも揚

そいつ

房前 波海公の次男多孫小
任友氏の川家と称
英明 齊世親王の男母を
養家をた進流中

将前意人

文室康秀 前甲斐目
文室相康 未詳人

深川少将 通いし伝流あり
深美受 女志度別男は系
所の執事

深見玄代 女志度別男は系
深見玄代 女志度別男は系

見願齋 法仙の男を
大房頭 男中道大進流あり

女房頭 男中道大進流あり
女房頭 男中道大進流あり

女房頭 男中道大進流あり
女房頭 男中道大進流あり

女房頭 男中道大進流あり
女房頭 男中道大進流あり

女房頭 男中道大進流あり
女房頭 男中道大進流あり

女房頭 男中道大進流あり
女房頭 男中道大進流あり

女房頭 男中道大進流あり
女房頭 男中道大進流あり

友林宗源 承と称する君を
より宗源と

友継

友井快齋 康伊高子仲
庵と号する宗少

友門用齋 和初の人和家
若くは宗中没

古田守勝 儀勢系不詳法
名宗有和傳門

古川長助 出流流の
女家

古林見直 女志度別男は系
女志度別男は系

大坂宗生 明一三年没七十九
門人三三夫人

風虎公 女志度別男は系
女志度別男は系

風虎公 女志度別男は系
女志度別男は系

伏芝加賀 女志度別男は系
女志度別男は系

富士公成 音字仲達仙
女志度別男は系

の人は女志度別男は系
女志度別男は系

福可五郎 女志度別男は系
女志度別男は系

芙蓉 女志度別男は系
女志度別男は系

割後 女志度別男は系
女志度別男は系

不聞 女志度別男は系
女志度別男は系

不聞 女志度別男は系
女志度別男は系

不聞 女志度別男は系
女志度別男は系

不聞 女志度別男は系
女志度別男は系

不聞 女志度別男は系
女志度別男は系

復庵 名宗已元父考伝
善名の伝伝近文中叙

普化禪 女志度別男は系
女志度別男は系

漢伏犧 女志度別男は系
女志度別男は系

傳説 女志度別男は系
女志度別男は系

傳玄 女志度別男は系
女志度別男は系

傳遜 女志度別男は系
女志度別男は系

傳若 女志度別男は系
女志度別男は系

無鹽君 女志度別男は系
女志度別男は系

醜婦 女志度別男は系
女志度別男は系

文中子 女志度別男は系
女志度別男は系

文彦博 女志度別男は系
女志度別男は系

文天祥 女志度別男は系
女志度別男は系

文徵明 女志度別男は系
女志度別男は系

停雲 女志度別男は系
女志度別男は系

巫咸 女志度別男は系
女志度別男は系

福壽 女志度別男は系
女志度別男は系

南史 女志度別男は系
女志度別男は系

白鶴 女志度別男は系
女志度別男は系

武三思 女志度別男は系
女志度別男は系

武元 女志度別男は系
女志度別男は系

馮子振 女志度別男は系
女志度別男は系

馮子振 女志度別男は系
女志度別男は系

國山 俗二聖天龍寺の住持

珊瑚海 名中珊瑚明又後継は意

興家 名永中致

言外 俗中致

漢孔子 俗在聖人仲尼

子人周系王臣王平四月八日

來七土後小文宣王王連封

天下席遊祀王一千四百十

除世々の帝土を子孫に傳

今に云

孔鯉 字伯魚 孔子の子

孔伋 字季思 孔子の孫

孔伋 字季思 孔子の孫

孔伋 字季思 孔子の孫

孔伋 字季思 孔子の孫

孔伋 字季思 孔子の孫

孔伋 字季思 孔子の孫

孔伋 字季思 孔子の孫

孔伋 字季思 孔子の孫

孔伋 字季思 孔子の孫

名良を双割りてく王姓を

伍福 字天錫 元の名家

五柳先生 陶淵明を毛

侯夫八 宋の時に有る後

吳王夫 越王勾践を

吳起 字子孫 魏の名家

吳融 字子華 唐昭宗の

吳道子 字元伯 唐の名家

吳玠 字元伯 唐の名家

吳澄 字幼清 元の名家

吳元 字元伯 元の名家

吳福 字元伯 元の名家

吳壽民 字伯仁 元の名家

吳鎮 字仲圭 宋の名家

吳大素 字元伯 元の名家

吳國倫 字明卿 明の名家

吳賢 字元伯 元の名家

吳雁門 字元伯 元の名家

吳苑 字元伯 元の名家

吳苑 字元伯 元の名家

吳琚 字元伯 元の名家

吳宏 字元伯 元の名家

顧聖王 字元伯 元の名家

顧信 字元伯 元の名家

顧亨 字元伯 元の名家

顧炎武 字元伯 元の名家

顧可久 字元伯 元の名家

顧璘 字元伯 元の名家

顧企 字元伯 元の名家

顧升 字元伯 元の名家

顧孝先 字元伯 元の名家

顧鳳翔 字元伯 元の名家

胡安國 字元伯 元の名家

胡致堂 字元伯 元の名家

胡五峯 字元伯 元の名家

胡憲 字元伯 元の名家

胡璣 字元伯 元の名家

胡焜 字元伯 元の名家

胡益 字元伯 元の名家

胡敬齋 字元伯 元の名家

五日五衍 字ハ子行 元のまゝ

貢師泰 元のまゝ

國姓又耶 日本肥前平戸の民 明はては鄭成功と

永曆六年二月僧伽古波 護法菩薩 天竺の人古波十

支那に傳せし 法家の世師

唐の二五年八月 虎山 名は漢伏元祖徑も

虎丘 名は陸家湖の 古林 名は持休丹里と

工 部

蝦夷 蘇我馬子の男入舞又 遠方成遠 世に文をえん

江村 齋 名は齋の齋家実文 中波者 一百

枝至元 年人持也 鹽台 官 太平記

後行者 名は小南文符常の如 一 結果を合し一と言ふの神

と咒縛し或は平小原に後 遊みし水遊み

唐の 名は西大寺山唐漢家 大旨叙九十貞云ま茂の

燃西 入唐唐唐の三嗣其邦 千光寺作を温今大杖をい

延 京唐水寺の名山田村 軍を丸を成時結家七

大岡二年大徳政とて 造るあり

小宮 名は本志延仁等の 小宮 名は本志延仁等の

小宮 名は本志延仁等の 小宮 名は本志延仁等の

小宮 名は本志延仁等の 小宮 名は本志延仁等の

小宮 名は本志延仁等の 小宮 名は本志延仁等の

小宮 名は本志延仁等の 小宮 名は本志延仁等の

小宮 名は本志延仁等の 小宮 名は本志延仁等の

小宮 名は本志延仁等の 小宮 名は本志延仁等の

小宮 名は本志延仁等の 小宮 名は本志延仁等の

小宮 名は本志延仁等の 小宮 名は本志延仁等の

小宮 名は本志延仁等の 小宮 名は本志延仁等の

小宮 名は本志延仁等の 小宮 名は本志延仁等の

小宮 名は本志延仁等の 小宮 名は本志延仁等の

小宮 名は本志延仁等の 小宮 名は本志延仁等の

小宮 名は本志延仁等の 小宮 名は本志延仁等の

小宮 名は本志延仁等の 小宮 名は本志延仁等の

小宮 名は本志延仁等の 小宮 名は本志延仁等の

山は栖と多と花家と後よ 徒い初てふ放ち原の心を

の礼奪候をさす

燕 燕国の子名は丹奏宗 人下を乞婚を白記鳥出

威しあふしや白鳥を出せり 始を遠く致し致し

姚 思 隋の姚崇の子名は唐 甲申陳書と撰

姚 樞 字は公茂を世し号 姚安 一 一 一

姚 安 一 一 一 姚 安 一 一 一

姚 安 一 一 一 姚 安 一 一 一

姚 安 一 一 一 姚 安 一 一 一

姚 安 一 一 一 姚 安 一 一 一

姚 安 一 一 一 姚 安 一 一 一

姚 安 一 一 一 姚 安 一 一 一

姚 安 一 一 一 姚 安 一 一 一

姚 安 一 一 一 姚 安 一 一 一

姚 安 一 一 一 姚 安 一 一 一

姚 安 一 一 一 姚 安 一 一 一

姚 安 一 一 一 姚 安 一 一 一

姚 安 一 一 一 姚 安 一 一 一

姚 安 一 一 一 姚 安 一 一 一

姚 安 一 一 一 姚 安 一 一 一

帝の御心

慧可 眼を穿てて法を授けられた

の周暦十二年三月十二日寂

慧能 南宗の祖

慧大 師の法を授けられた

大鑑 禪師

慧遠 廬山の祖

慧思 侍と名の

慧心 名師の

慧心 名師の

テ之部

天智天皇 舒明帝の皇子

天武天皇 天智の皇子

定家卿 名師の

山内 名師の

貞信公 名師の

貞佐 名師の

貞重 名師の

貞兼 名師の

貞柳 名師の

貞柳 名師の

貞恕 名師の

貞陸 名師の

光光 名師の

光光 名師の

光光 名師の

光光 名師の

光光 名師の

光光 名師の

光光 名師の

光光 名師の

光光 名師の

光光 名師の

光光 名師の

光光 名師の

光光 名師の

光光 名師の

光光 名師の

光光 名師の

光光 名師の

光光 名師の

光光 名師の

光光 名師の

北殿司 名師の

北殿司 名師の

北殿司 名師の

北殿司 名師の

北殿司 名師の

北殿司 名師の

北殿司 名師の

北殿司 名師の

北殿司 名師の

北殿司 名師の

北殿司 名師の

北殿司 名師の

北殿司 名師の

北殿司 名師の

北殿司 名師の

北殿司 名師の

北殿司 名師の

北殿司 名師の

北殿司 名師の

北殿司 名師の

北殿司 名師の

北殿司 名師の

テ

テ

テ

四十一

天真 名、宗昇如心流の

漢帝堯 陶唐氏名、放勳

趙高 秦始皇の丞相、政を執る

趙飛燕 漢の成帝をて

趙雲 將軍、英勇のた良

趙岐 後漢の人、幼く経学

趙至 字、景真、晋の松蘿

趙徽 字、景真、晋の松蘿

趙文賢 字、景真、晋の松蘿

趙子昂 字、孟頫、松蘿

趙雍 字、仲穆、子昂の弟

趙式 字、訓夫、明の画家

趙壽 字、南小、明の画家

趙珣 字、枝斯、初名之確、字

趙宦光 字、凡夫、明の画家

趙繼 字、子直、敬猷と号

趙獻可 字、養英、天と号、又を周

趙用美 字、常乃人、と号

趙均 字、灵均、きと号

趙子澄 字、八處、麻東の宗室

趙漢 字、錫爵、淞陽又玉

趙徵 字、大徴、遠

鄭玄 字、康成、後漢の融の

鄭樵 字、無用、自号生と号

鄭録 字、克敬、元朝

鄭培 字、山如、古亭と号

鄭文賢 字、景真、晋の松蘿

鄭高 字、天、松蘿、漢と号

鄭山 字、八、松蘿

晁錯 漢の祖

晁補之 字、无咎、宋の大家

鉄拐 字、玄、宋の仙人

丁令威 仙術をたつ鶴と化

丁書畧 字、宛、明の

丁德用 字、宛、明の

丁奎年 字、宛、明の

丁野夫 字、宛、明の

丁雲鵬 字、南、松蘿、吉雲、松と号

丁守訓 字、瑾、懷石、松と号

丁鳳 字、文瑞、竹溪と号

丁元薦 字、長孺、曲肱と号

程子 字、明、松蘿、分、松と号

程鉅夫 字、文伯、松と号

程震 字、文伯、松と号

程連城 字、文伯、松と号

程金南 字、文伯、松と号

ア之部

天照白大神 神代卷

天忍穂耳尊 神代卷

天沼矛 神代卷

天鈿女命 神代卷

天孫日命 神代卷

天兒屋根命 神代卷

足麻呂 神代卷

明日香子 神代卷

阿保 神代卷

阿保 神代卷

漢織 胡那縣の女工雄略の
胡那縣の女工雄略の

才女巧の友をいふ
才女巧の友をいふ

敦忠 大長時平の男
敦忠 大長時平の男

敦盛 平多経経盛の男を及
敦盛 平多経経盛の男を及

頭痛 平多経経盛の男を及
頭痛 平多経経盛の男を及

二年出家也
二年出家也

安倍仲満 中宮頼朝の男入
安倍仲満 中宮頼朝の男入

書院より昇進と改唐は
書院より昇進と改唐は

安倍度延 左府頼朝の男
安倍度延 左府頼朝の男

の比ま
の比ま

安倍晴明 彦彦の七世益枝
安倍晴明 彦彦の七世益枝

益枝保憲 彦彦の七世益枝
益枝保憲 彦彦の七世益枝

夫子孫 彦彦の七世益枝
夫子孫 彦彦の七世益枝

安倍貞任 小出宗任ハ
安倍貞任 小出宗任ハ

安達盛長 友九郎と林義
安達盛長 友九郎と林義

はる魚名公より云
はる魚名公より云

足立之遠元 藤原の末子
足立之遠元 藤原の末子

の別なり
の別なり

足利之云 三河源氏自氏の
足利之云 三河源氏自氏の

三位持大納言 藤原大納言
三位持大納言 藤原大納言

月島日鏡 九十九等持理成
月島日鏡 九十九等持理成

足利義政 中徳存
足利義政 中徳存

在左原業平 男在左中務
在左原業平 男在左中務

軍藤放 藤原の男
軍藤放 藤原の男

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

赤松右馬 大赤松赤松
赤松右馬 大赤松赤松

ア

ア

ア

四十四

青木昆陽 日下昆陽の松林
守友 為月 初為家手山
守直 清河 名修字文作
水府 云の修作
守定 守直 又晴之林

守直 自城 易乃名
青砥 起成 為德上孫曹川
臨 約 文門 孫曹曹座
虎未 泉 一家如笑の人
守直 如冰 冰の打体門
喜貞 外 讀書 文章之林
守直 自城 易乃名
守直 自城 易乃名
守直 自城 易乃名

阿羅之仙人 天竺撰神小玉
阿羅之仙人 天竺撰神小玉
阿羅之仙人 天竺撰神小玉
阿羅之仙人 天竺撰神小玉
阿羅之仙人 天竺撰神小玉

守直 自城 易乃名
守直 自城 易乃名
守直 自城 易乃名
守直 自城 易乃名
守直 自城 易乃名

之部

阿羅之仙人 天竺撰神小玉
阿羅之仙人 天竺撰神小玉
阿羅之仙人 天竺撰神小玉
阿羅之仙人 天竺撰神小玉
阿羅之仙人 天竺撰神小玉

守直 自城 易乃名
守直 自城 易乃名
守直 自城 易乃名
守直 自城 易乃名
守直 自城 易乃名

女前之公任の男持太郎

在五中將 ⑨ 左平葉平

指神子 遊悟晴月池法陽

交親湖只身一上城之草

猿丸 暗雅又來未得日中宛之

長旅留來

山月曉 字來響不言觸

城公世後世流立之草

比海向大子

上路 用有帝路池の明之

上高谷谷牧子 上高山

上情 在名を遠来候後之

山月 柳氏氏行

狹夜 遊狹之草

生畫 狹夜之草

主細之屋平

不之

生理 有系教の習奏

狹夜 傳年七月 日 日 日

狹夜 傳年七月 日 日 日

狹夜 傳年七月 日 日 日

狹夜 傳年七月 日 日 日

女前之公任の男持太郎

在五中將 ⑨ 左平葉平

指神子 遊悟晴月池法陽

交親湖只身一上城之草

猿丸 暗雅又來未得日中宛之

長旅留來

山月曉 字來響不言觸

城公世後世流立之草

比海向大子

上路 用有帝路池の明之

上高谷谷牧子 上高山

上情 在名を遠来候後之

山月 柳氏氏行

狹夜 遊狹之草

生畫 狹夜之草

主細之屋平

不之

生理 有系教の習奏

狹夜 傳年七月 日 日 日

狹夜 傳年七月 日 日 日

狹夜 傳年七月 日 日 日

狹夜 傳年七月 日 日 日

女前之公任の男持太郎

在五中將 ⑨ 左平葉平

指神子 遊悟晴月池法陽

交親湖只身一上城之草

猿丸 暗雅又來未得日中宛之

長旅留來

山月曉 字來響不言觸

城公世後世流立之草

比海向大子

上路 用有帝路池の明之

上高谷谷牧子 上高山

上情 在名を遠来候後之

山月 柳氏氏行

狹夜 遊狹之草

生畫 狹夜之草

主細之屋平

不之

生理 有系教の習奏

狹夜 傳年七月 日 日 日

狹夜 傳年七月 日 日 日

狹夜 傳年七月 日 日 日

狹夜 傳年七月 日 日 日

狹夜 傳年七月 日 日 日

狹夜 傳年七月 日 日 日

狹夜 傳年七月 日 日 日

狹夜 傳年七月 日 日 日

狹夜 傳年七月 日 日 日

狹夜 傳年七月 日 日 日

狹夜 傳年七月 日 日 日

狹夜 傳年七月 日 日 日

狹夜 傳年七月 日 日 日

狹夜 傳年七月 日 日 日

狹夜 傳年七月 日 日 日

狹夜 傳年七月 日 日 日

狹夜 傳年七月 日 日 日

狹夜 傳年七月 日 日 日

狹夜 傳年七月 日 日 日

狹夜 傳年七月 日 日 日

狹夜 傳年七月 日 日 日

狹夜 傳年七月 日 日 日

狹夜 傳年七月 日 日 日

狹夜 傳年七月 日 日 日

狹夜 傳年七月 日 日 日

狹夜 傳年七月 日 日 日

沢田 行吉 オサのり

沢一齋 名守則字文拱 風月花鳥と称す

沢村 琴所 名維家字ハ 伯揚奥三郎と 稱す

榎井 基元 中勢丞と称す 同時の連教所

榎本 玄甫 字ハ希聖 号ハ 純別の儒家

相阿弥 秋と号す 号ハ 相淵岳松を 推す 或ハ 舊法を施す 或ハ 新法を施す 或ハ 兼之を施す

杉風 名ハ 佛林 号ハ 魚を以て 稱す

西行 名ハ 寂然 号ハ 遍照 号ハ 遍照 号ハ 遍照 号ハ 遍照

西洞 名ハ 子思 号ハ 采の傍日 号ハ 采の傍日

西原 名ハ 宗師 号ハ 在徳 号ハ 在徳

西胤 名ハ 俊成 号ハ 俊成 号ハ 俊成

西胤 名ハ 俊成 号ハ 俊成 号ハ 俊成

西胤 名ハ 俊成 号ハ 俊成 号ハ 俊成

西浦 名ハ 宗甫 号ハ 宗甫 号ハ 宗甫

西川 名ハ 宗甫 号ハ 宗甫 号ハ 宗甫

策彦 名ハ 宗甫 号ハ 宗甫 号ハ 宗甫

在山 名ハ 宗甫 号ハ 宗甫 号ハ 宗甫

曹洞 名ハ 宗甫 号ハ 宗甫 号ハ 宗甫

曹洞 名ハ 宗甫 号ハ 宗甫 号ハ 宗甫

曹洞 名ハ 宗甫 号ハ 宗甫 号ハ 宗甫

曹洞 名ハ 宗甫 号ハ 宗甫 号ハ 宗甫

曹洞 名ハ 宗甫 号ハ 宗甫 号ハ 宗甫

曹洞 名ハ 宗甫 号ハ 宗甫 号ハ 宗甫

曹洞 名ハ 宗甫 号ハ 宗甫 号ハ 宗甫

曹洞 名ハ 宗甫 号ハ 宗甫 号ハ 宗甫

九思 字ハ 太冲 晋儒 三教の 徳を 仰ぐに 思を 攝す 号ハ 太冲

九思 字ハ 太冲 晋儒 三教の 徳を 仰ぐに 思を 攝す 号ハ 太冲

九思 字ハ 太冲 晋儒 三教の 徳を 仰ぐに 思を 攝す 号ハ 太冲

九思 字ハ 太冲 晋儒 三教の 徳を 仰ぐに 思を 攝す 号ハ 太冲

九思 字ハ 太冲 晋儒 三教の 徳を 仰ぐに 思を 攝す 号ハ 太冲

九思 字ハ 太冲 晋儒 三教の 徳を 仰ぐに 思を 攝す 号ハ 太冲

九思 字ハ 太冲 晋儒 三教の 徳を 仰ぐに 思を 攝す 号ハ 太冲

九思 字ハ 太冲 晋儒 三教の 徳を 仰ぐに 思を 攝す 号ハ 太冲

九思 字ハ 太冲 晋儒 三教の 徳を 仰ぐに 思を 攝す 号ハ 太冲

九思 字ハ 太冲 晋儒 三教の 徳を 仰ぐに 思を 攝す 号ハ 太冲

九思 字ハ 太冲 晋儒 三教の 徳を 仰ぐに 思を 攝す 号ハ 太冲

九思 字ハ 太冲 晋儒 三教の 徳を 仰ぐに 思を 攝す 号ハ 太冲

曹廉 字大猷 達普 儒 縵

曹彬 字 平 玉 孫

曹時中 幼名 而 交 彦 聖 破 置

曹學全 字 宗 六 從 祖 明 儒 五 經

曹振 知 在 玉 字 二 百

塞翁 為 塞 翁 以 故 之 也 字

山濤 字 巨 跡 晉 的 也 字

崔環 字 六 子 玉 漢 的 性 任 奇

崔氏 名 家 不 詳

山佳鳥 魏 的 字 字 上 回

崔顥 唐 的 字 入 烟 雲 香 畫 法

崔曾 唐 的 佛 象 畫 師 也

崔寔 義 也

東據 字 宗 為 義 無 期 的

索靖 字 幼 安 漢 之 猶 也

李登 字 季 山 佳 相 的

之部

士 德 公 下 道 達 魯 的 男 友 也

隆 一 軍 旅 在 投 軍 之 時

西 二 位 在 大 作 亦 亦 至 越 至 年

十月 號 八 十 之 今 守 候 守 也

魚 養 養 海 系 連 自 習 的

士 德 公 字 幼 安 漢 之 猶 也

偁 同 二 司 母 偁 前 同 一 母

君 固 也 流 氏 之 母 云 款 之

紀 述 之 字 而 亦 固 從 的 男 中

寬 的 文 字 亦 世 也

紀 在 昌 晨 從 的 田 村 上 帝

紀 綱 之 長 景 從 的 男 婦 文 字

紀 尹 字 子 內 叔 王 二 王 之 女 房

味 秀 入 之 世 隱 是 也 字 一 例

公 注 之 姓 之 男 子 果 太 伯

佳 多 之 然 的 公 亦 亦 相 安 矣

偁 之 禮 一 句 當 也

偁 本 之 統 的 男 子 也

偁 本 之 統 的 男 子 也

偁 本 之 統 的 男 子 也

偁 本 之 統 的 男 子 也

偁 本 之 統 的 男 子 也

偁 本 之 統 的 男 子 也

偁 本 之 統 的 男 子 也

偁 本 之 統 的 男 子 也

偁 本 之 統 的 男 子 也

偁 本 之 統 的 男 子 也

偁 本 之 統 的 男 子 也

之 好 善 之 人 數

偁 固 君 綽 號 綽 偁 偁 又

偁 之 名 也

本 會 義 仲 第 九 年 義 禮

本 會 義 仲 第 九 年 義 禮

本 會 義 仲 第 九 年 義 禮

本 會 義 仲 第 九 年 義 禮

本 會 義 仲 第 九 年 義 禮

本 會 義 仲 第 九 年 義 禮

本 會 義 仲 第 九 年 義 禮

本 會 義 仲 第 九 年 義 禮

本 會 義 仲 第 九 年 義 禮

本 會 義 仲 第 九 年 義 禮

本 會 義 仲 第 九 年 義 禮

本 會 義 仲 第 九 年 義 禮

本 會 義 仲 第 九 年 義 禮

本 會 義 仲 第 九 年 義 禮

本 會 義 仲 第 九 年 義 禮

本 會 義 仲 第 九 年 義 禮

本 會 義 仲 第 九 年 義 禮

本 會 義 仲 第 九 年 義 禮

本 會 義 仲 第 九 年 義 禮

之 好 善 之 人 數

偁 固 君 綽 號 綽 偁 偁 又

偁 之 名 也

本 會 義 仲 第 九 年 義 禮

本 會 義 仲 第 九 年 義 禮

本 會 義 仲 第 九 年 義 禮

本 會 義 仲 第 九 年 義 禮

本 會 義 仲 第 九 年 義 禮

本 會 義 仲 第 九 年 義 禮

本 會 義 仲 第 九 年 義 禮

本 會 義 仲 第 九 年 義 禮

本 會 義 仲 第 九 年 義 禮

本 會 義 仲 第 九 年 義 禮

本 會 義 仲 第 九 年 義 禮

本 會 義 仲 第 九 年 義 禮

本 會 義 仲 第 九 年 義 禮

本 會 義 仲 第 九 年 義 禮

本 會 義 仲 第 九 年 義 禮

本 會 義 仲 第 九 年 義 禮

本 會 義 仲 第 九 年 義 禮

本 會 義 仲 第 九 年 義 禮

本 會 義 仲 第 九 年 義 禮

小向屋 八幡屋と称家
小糸包山 二年新刊人
老良親実 村松新門人紀
蓬比の場をて中牟
傷るるる

其角 宝井氏宝番目供晋子
と称芭蕉門家本中
後常々牛馬にぬと行儀
許六 藤門氏九老井と号
去来 向井氏高僧と号

其角 宝井氏宝番目供晋子
と称芭蕉門家本中
後常々牛馬にぬと行儀
許六 藤門氏九老井と号
去来 向井氏高僧と号

希因 少投て由
几圭 巴人の門系師の
記主 新定之男名良
行其 泉列の人と云之氏百
行 泉列の人と云之氏百
行 泉列の人と云之氏百

行助 法不持彦連教先
喜撰 友人の字法山の信と号
其岩田大徳 肥前大村の人
院殿上の法隆寺住持
朱子英 長門系長の人
寄堂 所系より
鏡堂 名ハ元久城世相通
希庵 名ハ元久城世相通

義天 名ハ元久城世相通
義南 名ハ元久城世相通
義堂 名ハ元久城世相通
義天 名ハ元久城世相通
義南 名ハ元久城世相通
義堂 名ハ元久城世相通

義天 名ハ元久城世相通
義南 名ハ元久城世相通
義堂 名ハ元久城世相通
義天 名ハ元久城世相通
義南 名ハ元久城世相通
義堂 名ハ元久城世相通

玉浦 名ハ元久城世相通
玉岡 名ハ元久城世相通
玉暁 名ハ元久城世相通
玉浦 名ハ元久城世相通
玉岡 名ハ元久城世相通
玉暁 名ハ元久城世相通

玉堂 名ハ元久城世相通
玉舟 名ハ元久城世相通
其巖 名ハ元久城世相通

其巖 名ハ元久城世相通
其巖 名ハ元久城世相通
其巖 名ハ元久城世相通

其巖 名ハ元久城世相通
其巖 名ハ元久城世相通
其巖 名ハ元久城世相通

其巖 名ハ元久城世相通
其巖 名ハ元久城世相通
其巖 名ハ元久城世相通

キ
キ
キ
キ
四十九

許王堂 字公山 水苑もの

許自宏 字公山 水苑もの

許巨川 字公山 水苑もの

許公谷 字公山 水苑もの

箕子 殷紂王の庶兄 周の武王設けし 箕子が大賢を初て朝鮮に封じしもの

遠伯玉 衛の賢大夫

季子元子 魯の賢大夫

季子元子 魯の賢大夫

魏曹標 天下を争ふ武帝の諡

魏收 字伯起 北齊の儒平

魏徵 字元文 中子の魏 唐の大臣はそを魏の凡わ

魏金端 字元文 魏の凡わ

魏時應 字元文 魏の凡わ

魏學魯 字元文 魏の凡わ

魏毒 母と毒し 魏の凡わ

魏の種

魏の種

魏の種

魏の種

魏の種

魏の種

丘瓊山 字公山 水苑もの

丘瓊山 字公山 水苑もの

丘瓊山 字公山 水苑もの

丘瓊山 字公山 水苑もの

丘瓊山 字公山 水苑もの

丘瓊山 字公山 水苑もの

丘瓊山 字公山 水苑もの

丘瓊山 字公山 水苑もの

丘瓊山 字公山 水苑もの

丘瓊山 字公山 水苑もの

丘瓊山 字公山 水苑もの

丘瓊山 字公山 水苑もの

丘瓊山 字公山 水苑もの

丘瓊山 字公山 水苑もの

丘瓊山 字公山 水苑もの

丘瓊山 字公山 水苑もの

丘瓊山 字公山 水苑もの

丘瓊山 字公山 水苑もの

丘瓊山 字公山 水苑もの

丘瓊山 字公山 水苑もの

丘瓊山 字公山 水苑もの

牛樞暉 字公山 水苑もの

牛樞暉 字公山 水苑もの

牛樞暉 字公山 水苑もの

牛樞暉 字公山 水苑もの

牛樞暉 字公山 水苑もの

牛樞暉 字公山 水苑もの

牛樞暉 字公山 水苑もの

牛樞暉 字公山 水苑もの

牛樞暉 字公山 水苑もの

牛樞暉 字公山 水苑もの

牛樞暉 字公山 水苑もの

牛樞暉 字公山 水苑もの

牛樞暉 字公山 水苑もの

牛樞暉 字公山 水苑もの

牛樞暉 字公山 水苑もの

牛樞暉 字公山 水苑もの

牛樞暉 字公山 水苑もの

牛樞暉 字公山 水苑もの

牛樞暉 字公山 水苑もの

牛樞暉 字公山 水苑もの

牛樞暉 字公山 水苑もの

之部

帝任 魏の武帝の諡

陽成 魏の武帝の諡

近 魏の武帝の諡

行 魏の武帝の諡

行 魏の武帝の諡

行 魏の武帝の諡

行 魏の武帝の諡

行 魏の武帝の諡

行 魏の武帝の諡

行 魏の武帝の諡

行 魏の武帝の諡

行 魏の武帝の諡

キ

キ

キ

を男業元字ハ安方博泉
号平と号し林神童と号す
溝園中渠 字文系尹玄菟
と称画象
溝口千谷 名成從中平次
庄目と称いぬ人
中流流公出
と号一象

溝我柳江 橋川の
ミヤガキイホ 名六寄中平次
文信均圖 名と述と称系
人 中流流公出平次
人 善竹の画信信平安の信
と称

文尾道三 信忠と弟事也
ミヤガキイホ 名と述と称系
の事也信忠と弟事也
文信均圖 名と述と称系
人 中流流公出平次
人 善竹の画信信平安の信
と称

宮田令峯 名大明子亮
宮田令峯 名大明子亮
宮田令峯 名大明子亮
宮田令峯 名大明子亮
宮田令峯 名大明子亮

儒教

宮田令峯 名大明子亮
宮田令峯 名大明子亮
宮田令峯 名大明子亮
宮田令峯 名大明子亮
宮田令峯 名大明子亮

光茂 光茂の男
光茂 光茂の男
光茂 光茂の男
光茂 光茂の男
光茂 光茂の男

光忠 刑部を痛吉娘の家
光忠 刑部を痛吉娘の家
光忠 刑部を痛吉娘の家
光忠 刑部を痛吉娘の家
光忠 刑部を痛吉娘の家

光持 左大臣
光持 左大臣
光持 左大臣
光持 左大臣
光持 左大臣

光高 拾遺と号す
光高 拾遺と号す
光高 拾遺と号す
光高 拾遺と号す
光高 拾遺と号す

光継 大依門
光起 上
光芳 名成從中平次
庄目と称いぬ人
中流流公出
と号一象

未得 石田氏貞門
未得 石田氏貞門
未得 石田氏貞門
未得 石田氏貞門
未得 石田氏貞門

明惠上人 紀州の人
明惠上人 紀州の人
明惠上人 紀州の人
明惠上人 紀州の人
明惠上人 紀州の人

明安 名成從中平次
明安 名成從中平次
明安 名成從中平次
明安 名成從中平次
明安 名成從中平次

儒教

眉間尺 楚人
眉間尺 楚人
眉間尺 楚人
眉間尺 楚人
眉間尺 楚人

下照 大正天皇
下照 大正天皇
下照 大正天皇
下照 大正天皇
下照 大正天皇

神武天皇 日本天皇
神武天皇 日本天皇
神武天皇 日本天皇
神武天皇 日本天皇
神武天皇 日本天皇

滋藤 名成從中平次
滋藤 名成從中平次
滋藤 名成從中平次
滋藤 名成從中平次
滋藤 名成從中平次

神功皇后 息女を称す
神功皇后 息女を称す
神功皇后 息女を称す
神功皇后 息女を称す
神功皇后 息女を称す

順徳院 八十四代
順徳院 八十四代
順徳院 八十四代
順徳院 八十四代
順徳院 八十四代

七条后 名成從中平次
七条后 名成從中平次
七条后 名成從中平次
七条后 名成從中平次
七条后 名成從中平次

時平大臣 昭宣公
時平大臣 昭宣公
時平大臣 昭宣公
時平大臣 昭宣公
時平大臣 昭宣公

新羅 二帝
新羅 二帝
新羅 二帝
新羅 二帝
新羅 二帝

俊成 中納言
俊成 中納言
俊成 中納言
俊成 中納言
俊成 中納言

重盛 平相
重盛 平相
重盛 平相
重盛 平相
重盛 平相

滋藤 名成從中平次
滋藤 名成從中平次
滋藤 名成從中平次
滋藤 名成從中平次
滋藤 名成從中平次

澁野井 本子土戸 法道

出て一家兼養 年中遊

清水谷 実業 廻り人 遊水

中遊

清水 遊水 細谷 遊水

清水 遊水 細谷 遊水

清水 遊水 細谷 遊水

清水 遊水 細谷 遊水

清水 遊水 細谷 遊水

清水 遊水 細谷 遊水

清水 遊水 細谷 遊水

清水 遊水 細谷 遊水

清水 遊水 細谷 遊水

清水 遊水 細谷 遊水

清水 遊水 細谷 遊水

清水 遊水 細谷 遊水

清水 遊水 細谷 遊水

清水 遊水 細谷 遊水

清水 遊水 細谷 遊水

清水 遊水 細谷 遊水

清水 遊水 細谷 遊水

清水 遊水 細谷 遊水

清水 遊水 細谷 遊水

芝法眼 廣孝 稱文 福中

芝法眼 廣孝 稱文 福中

芝法眼 廣孝 稱文 福中

芝法眼 廣孝 稱文 福中

芝法眼 廣孝 稱文 福中

芝法眼 廣孝 稱文 福中

芝法眼 廣孝 稱文 福中

芝法眼 廣孝 稱文 福中

芝法眼 廣孝 稱文 福中

芝法眼 廣孝 稱文 福中

芝法眼 廣孝 稱文 福中

芝法眼 廣孝 稱文 福中

芝法眼 廣孝 稱文 福中

芝法眼 廣孝 稱文 福中

芝法眼 廣孝 稱文 福中

芝法眼 廣孝 稱文 福中

芝法眼 廣孝 稱文 福中

芝法眼 廣孝 稱文 福中

芝法眼 廣孝 稱文 福中

芝法眼 廣孝 稱文 福中

芝法眼 廣孝 稱文 福中

芝法眼 廣孝 稱文 福中

芝法眼 廣孝 稱文 福中

門 芝法眼 廣孝 稱文 福中

門 芝法眼 廣孝 稱文 福中

門 芝法眼 廣孝 稱文 福中

門 芝法眼 廣孝 稱文 福中

門 芝法眼 廣孝 稱文 福中

門 芝法眼 廣孝 稱文 福中

門 芝法眼 廣孝 稱文 福中

門 芝法眼 廣孝 稱文 福中

門 芝法眼 廣孝 稱文 福中

門 芝法眼 廣孝 稱文 福中

門 芝法眼 廣孝 稱文 福中

門 芝法眼 廣孝 稱文 福中

門 芝法眼 廣孝 稱文 福中

門 芝法眼 廣孝 稱文 福中

門 芝法眼 廣孝 稱文 福中

門 芝法眼 廣孝 稱文 福中

門 芝法眼 廣孝 稱文 福中

門 芝法眼 廣孝 稱文 福中

門 芝法眼 廣孝 稱文 福中

門 芝法眼 廣孝 稱文 福中

門 芝法眼 廣孝 稱文 福中

門 芝法眼 廣孝 稱文 福中

門 芝法眼 廣孝 稱文 福中

如雲谷と号す初形を爲す
後信より本流の先

狂歌を
子より

正徹 紀姓之夫は清光東福寺
の之地福月庵と称す山科

如香 九洲の人と号す守り生
画の妙を究む

周文 右公長育おほき奇小僧
妙を以て号す画凡一家

周德 惟謙と号す防州雲谷
多し後名魚門と一家

周耕 門人多し鍾馗好む
門人多し鍾馗好む

松元堂 右昭乗中沼白武
於の隱居を爲す八幡

山滝本坊より河清龍と号す
又画は狩り山系と号す一家

松岳 右宗洛好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

信叔 右宗允好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

信海 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

子七 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

子姪 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

子姪 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

子姪 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

字堂 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

終南 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

春屋 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

春屋 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

春屋 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

春屋 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

春屋 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

春屋 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

春屋 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

春屋 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

春屋 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

春屋 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

春屋 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

春屋 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

春屋 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

春屋 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

春屋 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

春屋 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

春屋 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

周茂叔 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

周伯琦 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

周天球 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

周之冕 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

周銘 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

周任祿 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

周鼎 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

周麟 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

周履清 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

周臣 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

周憲王 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

周文榮 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

周季之 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

周公 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

周紹達 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

周亮王 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

周度 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

子貢 右宗雄好む心流の善徳
尾張瑞泉寺より

①

①

子路 仲由又季路孔子の弟子衛の普曠の

子淵 姓ハ言名、禮孔の

子夏 姓ハ文字を稱せり

子張 姓ハ顔孫名ハ喙孔門の

子賤 姓ハ宓名ハ不齊孔子

子羔 姓ハ高名ハ采孔子門

子産 鄭の大夫を尊ぶ

漆雕 定子若孔子の弟子

司馬牛 名ハ耕孔子の

司馬相 魯の大匠孔子の

司馬相如 魯の長卿漢の附

司馬遷 十歳又を痛む漢

司馬懿 字ハ仲達魏の元帥

司馬彪 字ハ叔子唐の博士

司馬貞 字ハ子微唐の文苑

司馬攸 字ハ子剛唐の博士

司馬溫公 名ハ光字ハ君實

温公 字ハ文和

温公 字ハ文和

温公 字ハ文和

温公 字ハ文和

温公 字ハ文和

温公 字ハ文和

温公 字ハ文和

秦始皇 始皇の長城

秦舞陽 燕の太子丹の

秦觀 字ハ少游又太虚

秦觀 字ハ少游又太虚

秦觀 字ハ少游又太虚

秦觀 字ハ少游又太虚

秦觀 字ハ少游又太虚

秦觀 字ハ少游又太虚

秦觀 字ハ少游又太虚

秦觀 字ハ少游又太虚

秦觀 字ハ少游又太虚

秦觀 字ハ少游又太虚

秦觀 字ハ少游又太虚

秦觀 字ハ少游又太虚

秦觀 字ハ少游又太虚

秦觀 字ハ少游又太虚

秦觀 字ハ少游又太虚

秦觀 字ハ少游又太虚

秦觀 字ハ少游又太虚

秦觀 字ハ少游又太虚

秦觀 字ハ少游又太虚

秦觀 字ハ少游又太虚

秦觀 字ハ少游又太虚

秦觀 字ハ少游又太虚

秦觀 字ハ少游又太虚

朱大年 字ハ元初の

朱大年 字ハ元初の

朱大年 字ハ元初の

朱大年 字ハ元初の

朱大年 字ハ元初の

朱大年 字ハ元初の

朱大年 字ハ元初の

朱大年 字ハ元初の

朱大年 字ハ元初の

朱大年 字ハ元初の

朱大年 字ハ元初の

朱大年 字ハ元初の

朱大年 字ハ元初の

朱大年 字ハ元初の

朱大年 字ハ元初の

朱大年 字ハ元初の

朱大年 字ハ元初の

朱大年 字ハ元初の

朱大年 字ハ元初の

朱大年 字ハ元初の

朱大年 字ハ元初の

朱大年 字ハ元初の

朱大年 字ハ元初の

朱大年 字ハ元初の

朱大年 字ハ元初の

鍾離權 字叔通和合子
世と号後漢の附吐蕃を征
し利を失ひ山谷を走吳人
と爲仙術及老龜の
鍾繇 字元常胡昭劉佺
鍾繇 字元常胡昭劉佺

鍾繇 字元常胡昭劉佺
鍾繇 字元常胡昭劉佺

鍾繇 字元常胡昭劉佺
鍾繇 字元常胡昭劉佺

鍾繇 字元常胡昭劉佺
鍾繇 字元常胡昭劉佺

鍾繇 字元常胡昭劉佺
鍾繇 字元常胡昭劉佺

鍾繇 字元常胡昭劉佺
鍾繇 字元常胡昭劉佺

鍾繇 字元常胡昭劉佺
鍾繇 字元常胡昭劉佺

鍾繇 字元常胡昭劉佺
鍾繇 字元常胡昭劉佺

鍾繇 字元常胡昭劉佺
鍾繇 字元常胡昭劉佺

鍾繇 字元常胡昭劉佺
鍾繇 字元常胡昭劉佺

鍾繇 字元常胡昭劉佺
鍾繇 字元常胡昭劉佺

鍾繇 字元常胡昭劉佺
鍾繇 字元常胡昭劉佺

謝惠連 字道韞
謝瞻 字宏遠家世
謝朓 字宏遠家世
謝朓 字宏遠家世

謝朓 字宏遠家世
謝朓 字宏遠家世

謝朓 字宏遠家世
謝朓 字宏遠家世

謝朓 字宏遠家世
謝朓 字宏遠家世

謝朓 字宏遠家世
謝朓 字宏遠家世

謝朓 字宏遠家世
謝朓 字宏遠家世

謝朓 字宏遠家世
謝朓 字宏遠家世

謝朓 字宏遠家世
謝朓 字宏遠家世

謝朓 字宏遠家世
謝朓 字宏遠家世

謝朓 字宏遠家世
謝朓 字宏遠家世

謝朓 字宏遠家世
謝朓 字宏遠家世

謝朓 字宏遠家世
謝朓 字宏遠家世

沈佺期 字季真
沈右之 字元之
沈孟堅 字元之
沈孟堅 字元之

沈孟堅 字元之
沈孟堅 字元之

沈孟堅 字元之
沈孟堅 字元之

沈孟堅 字元之
沈孟堅 字元之

沈孟堅 字元之
沈孟堅 字元之

沈孟堅 字元之
沈孟堅 字元之

沈孟堅 字元之
沈孟堅 字元之

沈孟堅 字元之
沈孟堅 字元之

沈孟堅 字元之
沈孟堅 字元之

沈孟堅 字元之
沈孟堅 字元之

沈孟堅 字元之
沈孟堅 字元之

沈孟堅 字元之
沈孟堅 字元之

甄立言 魏の太子を殺す

初履世 宋の医家

施沛 明の医家

施永 明の医家

施光 明の医家

友兼中 医家

祝世祿 明の医家

祝允明 明の文豪

舞輿 明の文豪

舜天王 流布の王法

大里 唐の文豪

壽老人 唐の文豪

孝老太子 唐の文豪

浄法王子 唐の文豪

教子の 唐の文豪

慈恩 唐の文豪

慈如 唐の文豪

章安 唐の文豪

唱上 唐の文豪

傳く 唐の文豪

止観 天台宗の僧

儀衲 天台宗の僧

青弁 天台宗の僧

舎利弗 釈迦の弟子

須菩提 釈迦の弟子

成博 漢の文豪

工部 漢の官

大彦 漢の文豪

聖児 漢の文豪

聖児 漢の文豪

聖児 漢の文豪

聖児 漢の文豪

聖児 漢の文豪

聖児 漢の文豪

聖児 漢の文豪

聖児 漢の文豪

聖児 漢の文豪

聖児 漢の文豪

聖児 漢の文豪

聖児 漢の文豪

人見友元 天台宗の僧

日向美俊 漢の文豪

日向美俊 漢の文豪

日向美俊 漢の文豪

日向美俊 漢の文豪

日向美俊 漢の文豪

日向美俊 漢の文豪

日向美俊 漢の文豪

日向美俊 漢の文豪

日向美俊 漢の文豪

日向美俊 漢の文豪

日向美俊 漢の文豪

日向美俊 漢の文豪

日向美俊 漢の文豪

日向美俊 漢の文豪

日向美俊 漢の文豪

日向美俊 漢の文豪

日向美俊 漢の文豪

日向美俊 漢の文豪

日向美俊 漢の文豪

世に名を得(エシキル)の類
平次海賊 買卜者の名
又大なる

樋口清 福光と称
東山義政 是利家ハ也
急眼流と号

① 秋の連人
赤松義隆 世に名を得
赤松義隆 世に名を得

赤松義隆 世に名を得
赤松義隆 世に名を得
赤松義隆 世に名を得

肥前兼重 世に名を得
久田宗全 世に名を得
久田宗全 世に名を得

② 比干 殷討王の庶兄聖人
人の心ハ七ツの竅ありと云
微子 殷討王の庶兄
聖人として流て用ら

段子 鷹 世に名を得
俾竈 擲人天守

曹長房 世に名を得
曹長房 世に名を得

曹長房 世に名を得
曹長房 世に名を得

③ 毛之部
文天祥 世に名を得
文天祥 世に名を得

久良親王 世に名を得
久良親王 世に名を得

久良親王 世に名を得
久良親王 世に名を得

久良親王 世に名を得
久良親王 世に名を得

④ 其後 右衛門尉の男
守屋 物部村弓前氏庶弟の
守屋 物部村弓前氏庶弟の

守武 守屋 物部村弓前氏庶弟の
守武 守屋 物部村弓前氏庶弟の

物部 守屋 物部村弓前氏庶弟の
物部 守屋 物部村弓前氏庶弟の

物部 守屋 物部村弓前氏庶弟の
物部 守屋 物部村弓前氏庶弟の

毛 守屋 物部村弓前氏庶弟の
毛 守屋 物部村弓前氏庶弟の

毛 守屋 物部村弓前氏庶弟の
毛 守屋 物部村弓前氏庶弟の

毛 守屋 物部村弓前氏庶弟の
毛 守屋 物部村弓前氏庶弟の

毛 守屋 物部村弓前氏庶弟の
毛 守屋 物部村弓前氏庶弟の

(二) (七) (毛) (毛) 五十九

毛月三美 藤門と号する
百瀬耕元 長瀬より山道世
本居翁 名は長瀬翁の送

水導寺 僧相
文覚 名は長瀬翁の送

周中 名は長瀬翁の送
成林 名は長瀬翁の送

木庵 名は長瀬翁の送
白令端 名は長瀬翁の送

毛延壽 漢の時画師
毛牆 古什
毛松 画師

毛晃 字は晋山組の
毛芭 字は晋山組の
毛奇 字は大可法師の

牧溪 字は常楽の絶無
月遊連 字は通分

清和天皇 文徳天皇の皇子
清和天皇 字は通分

清和天皇 字は通分
清和天皇 字は通分

高僧 字は通分
高僧 字は通分

紹巴 字は通分
紹巴 字は通分

紹巴 字は通分
紹巴 字は通分

紹巴 字は通分
紹巴 字は通分

紹巴 字は通分
紹巴 字は通分

紹巴 字は通分
紹巴 字は通分

毛

毛

毛

六十

錢乙 字仲湯 梁の医家

錢倅 字開私 字子の医家 傷をも百回放とせん

錢選 字公深 字公深 又 善琴と号すの画家

錢穀 字叔全 醫家と号すの之を

錢謙益 字有牧 汝州の 文家

錢源 字公深 谷は別の 画家

錢封 字公深 松屋と号すの之を

錢峻 字公深 榆河の 医家

全元起 梁の医家 齊の 醫家

全魁 字公深 南陽の 医家

成公綽 字公深 晋州の 医家

昭明太子 梁武帝の長子 蕭統 字大休 施 之事を大雅と後漢の 文選とせん

蕭穎士 字公深 扶風の 文家

蕭炳 字公深 唐の 医家

蕭子雲 字公深 高梁の 文家

薛瑩 字公深 唐の 医家

薛系庸 字公深 唐の 医家

薛文清 字公深 唐の 医家

薛鑑 字公深 唐の 医家

薛已 字公深 唐の 医家

邵康節 字公深 雍州の 医家

邵亨貞 字公深 復陽の 医家

邵詩用 字公深 高郵の 医家

譙夢授 字公深 定州の 医家

葉士龍 字公深 西山の 医家

葉文齡 字公深 石梁の 医家

葉雲龍 字公深 明の 医家

葉向高 字公深 明の 医家

鮮于樞 字公深 元の 医家

郊音 字公深 咸寧の 医家

饒魯 字公深 朱川の 医家

饒鐸 字公深 明の 医家

詹信 字公深 仲和の 医家

詹系鳳 字公深 白岳山の 医家

焦竑 字公深 弱侯の 医家

焦秉貞 字公深 焦の 医家

清何 字公深 焦の 医家

戚南塘 字公深 焦の 医家

盛寅 字公深 晉州の 医家

盛端用 字公深 明の 医家

盛時英 字公深 明の 医家

耳明尚恒 字公深 晋州の 医家

道大 字公深 晋州の 医家

若愚 字公深 晋州の 医家

若愚 字公深 晋州の 医家

若愚 字公深 晋州の 医家

若愚 字公深 晋州の 医家

若愚 字公深 晋州の 医家

若愚 字公深 晋州の 医家

若愚 字公深 晋州の 医家

若愚 字公深 晋州の 医家

若愚 字公深 晋州の 医家

若愚 字公深 晋州の 医家

若愚 字公深 晋州の 医家

若愚 字公深 晋州の 医家

若愚 字公深 晋州の 医家

若愚 字公深 晋州の 医家

若愚 字公深 晋州の 医家

七

七

七

六

スナクシノ 志小徳院 七十六代の帝後

スナクシノ 志小徳院 七十六代の帝後

スナクシノ 志小徳院 七十六代の帝後

スナクシノ 志小徳院 七十六代の帝後

スナクシノ 志小徳院 七十六代の帝後

スナクシノ 志小徳院 七十六代の帝後

スナクシノ 志小徳院 七十六代の帝後

スナクシノ 志小徳院 七十六代の帝後

スナクシノ 志小徳院 七十六代の帝後

スナクシノ 志小徳院 七十六代の帝後

スナクシノ 志小徳院 七十六代の帝後

橋とせり 祖傳

菅一公 依見の人友松

菅沼 東郷 行文 孫大

菅野 兼山 孫出男 孫要

菅野 兼山 孫出男 孫要

菅野 兼山 孫出男 孫要

菅野 兼山 孫出男 孫要

菅野 兼山 孫出男 孫要

菅野 兼山 孫出男 孫要

菅野 兼山 孫出男 孫要

菅野 兼山 孫出男 孫要

瑞相居士 万里亭の男

墨江 倉後 依見の人友松

捨女 文川 孫出男 孫要

首夜 又左衛門 孫出男 孫要

出高谷 高氏 孫出男 孫要

瑞溪 因仲 孫出男 孫要

羽平岩 孫出男 孫要

羽平岩 孫出男 孫要

羽平岩 孫出男 孫要

羽平岩 孫出男 孫要

羽平岩 孫出男 孫要

スナクシノ 志小徳院 七十六代の帝後

スナクシノ 志小徳院 七十六代の帝後

スナクシノ 志小徳院 七十六代の帝後

スナクシノ 志小徳院 七十六代の帝後

スナクシノ 志小徳院 七十六代の帝後

スナクシノ 志小徳院 七十六代の帝後

スナクシノ 志小徳院 七十六代の帝後

スナクシノ 志小徳院 七十六代の帝後

スナクシノ 志小徳院 七十六代の帝後

スナクシノ 志小徳院 七十六代の帝後

文化九王 申年 孟春

本主

半日葉珊江

高井氏編並書

大坂書舗

河内屋兵衛

江戸書舗

須原屋伊八

浅草茅町二丁目



